



さあ、一歩踏み出そう。



なりたい、に寄り添う大学

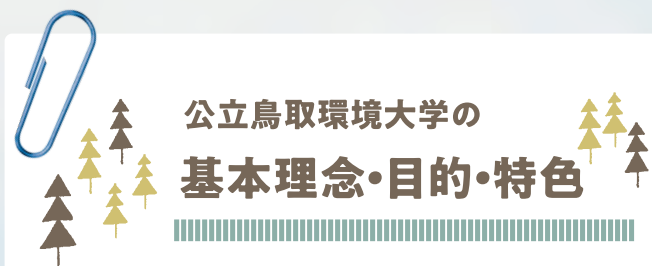
さあ、一步踏み出そう。

環境と経営。この二つの学びが交わる場所で、

君は無限の可能性を手に入れることができる。

世界を舞台に、新たな価値を創造する。

それが、君の未来だ。



基本理念

公立鳥取環境大学は「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うことを基本理念としています。

目的

公立鳥取環境大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教育・研究し、人と社会と自然との共生を実現していくため、豊かな人間性にあふれ、自ら考え行動し、力強く生きる人間を育成します。

また、持続的な社会の発展をめざし、地域の自然環境や人と人とのつながりを大切にするローカルな視点を持ちながら、自然環境の保全と人類の経済発展の両面にわたりグローバルに活躍できるバランス感覚に優れた、地域とつながり、地域を担う人材、世界にはばたく人材を育成します。

めざす大学像

ローカルかつグローバルに環境と経営を学ぶ大学

「経営」視点をもった環境学、「環境」を意識した経営学がいま求められています。本学で行っている、「環境」と「経営」の交わる教育と研究が、国内外から注目されており、日本各地から学生が集まっています。鳥取県をフィールドに研究を展開し、地域の発展に貢献する取り組みや、海外の大学と連携する国際交流活動も行っています。

人材育成の目標

10年後、20年後にますます社会で活躍できる 知力と人間力に優れた人材を育成

本学では「人間形成科目」を土台に「学部専門科目」を学修します。さらに「プロジェクト研究」で学ぶ意欲や好奇心を引き出すことで知力を高めます。また教員、職員、鳥取の人々との思いやりあふれる交流によって人間力を強化。知力と人間力を備えることで、時代の変化に対応できるたくましい人材を育成します。



「世の中、 捨てたもんじゃないよね」と 言ってみたくない？

“環境”と“経営”の 微妙な“環経(かんけい)”を かんがえてみる。

環境改善と経営改善、どちらもいい感じ。
環境破壊と経営破綻、これは何とか避けたい感じ。
そこで考えてみる。
いい感じに共通するのは何だろう。
それはきっと、みんなにとって、いい感じということ。
避けたい感じに共通するのは何だろう。
それはきっと、みんなが困ってしまう、ということ。

自分さえよければいい、という考え方は、
環境を壊す危険が大、です。
我社だけ儲かればいい、という経営も、世の中を、
人と人とのつながりを壊す傾向が大、です。
だから、環境も経営も、みんなにとっていい感じ、
をめざしてほしいと思う。
でも、
自分さえよければ、は恐ろしく強い生命力を持っている。
知識と実践という武器に、
これでもかこれでもかと磨きをかけなければ、
みんなにとっていい感じ、が、
自分さえよければ、に打ち勝つのはむずかしい。

でもしかし、ここで、この場所であれば、
「世の中、捨てたもんじゃないよね」と言える時が、
きっと来る、と思う。

ぜひ一度、このキャンパスに立ってみてほしい。
ここには、美しく周囲の環境と調和した景色があって、
学生も教職員も多様性にあふれている。
学生にとって、地域にとって、よりよい大学をめざすという
経営(運営)の意気込みが、
教育研究棟や、大学本部・講義棟や、学生センターや、
とにかくいたるところで、
真剣なまなざしや、和やかな笑顔や、
さわやかなかけ声となって、実を結んでいる。



Tottori
University of
Environmental
Studies
= TUES

緑に囲まれた場所にあつてとても空気がいいです。通学はスクールバスがあつて鳥取駅の近くに住んでいますが、遅れずに授業を受けることができます。

1年生から大学の先輩達と一緒に授業を受けます。授業でわからないことを気軽に聞くことができるので安心して単位を取得できます。また、先輩達に相談をすることができる場所もあるので日々の生活についても相談ができます。

CONTENTS

■ moving story TUES こんなに夢中になるなんて…。先輩4名の証言	05
■ Educational Systems 7つの学修分野・教職課程と「副専攻」	13
■ Common Education／Project 人間形成教育・プロジェクト研究(両学部共通)	15
■ Faculty of Environmental Studies 環境学部 環境学科	17
● 自然環境保全分野	19
● 循環型社会形成分野	21
● 人間環境分野	23
● 教職課程	25
● 教育プログラム	27
● 卒業後の進路	28
● 教員一覧	29
■ Faculty of Business Administration 経営学部 経営学科	31
● 企業経営分野	33
● 会計・ファイナンス分野	35
● 地域経営分野	37
● 経営情報分野	39
● 教育プログラム	41
● 卒業後の進路	42
● 教員一覧	43
■ Graduate School 大学院	45
■ Research Institute 附属研究機関	46
■ Campus Information さあ、鳥取を楽しもう！	47
● クラブ・サークル・委員会	49
● 就職支援	51
● 施設紹介	53
● 国際交流	55
● Found鳥取／学外施設	57
● 一人暮らしの先輩に聞く／センパイ220人に聞きました！	58
● 学長メッセージ／沿革	59
● 学納金／奨学金	61
● 入試情報	62



こんなに夢中になるなんて…
先輩4名の証言

環境、防災、地域の抱える様々な課題……。すべてがSDGsという広く深い営みとつながっている。

平井 杏奈 さん 環境学部 環境学科 2年生
岡山県出身



SDGsに正面から取り組む大学は、意外にも自分のすぐそばにあった！

中学時代、理科の先生がSDGsについてよく話して下さっていました。さらに授業中に災害の映像を見せていただき、災害に関する本を読んだりする中で、異常気象や地球温暖化とSDGsが深く結びついていることを痛感したのです。環境大学の存在を知ったのは、大学選びを本格化させてからのことです。私の通っていた高校から70キロほどしか離れていないのに、この大学のことを全く知らなくて…。SDGsや環境をキーワードに調べる中で、この学校が一番、私の学びたいことが学べるのでは、と感じました。多くの大学が、特定のSDGs目標に特化した学



びの提供に留まっているのに対し、環境大学はSDGsに正面から向き合い、大学全体で推進活動に取り組んでいる点に大きな魅力を感じたのです。実際に入学してみて、この大学と出会えてよかった、と改めて思っています。



フィールドワークを通じて地域の課題を自分で確かめ考える

環境学部での学びの最大の特徴は、鳥取全体をフィールドとして環境について学べることです。中でも特に印象に残っているのは特別演習の授業です。この授業では長期休暇を利用し、少人数でSDGsに関連したテーマについて学び、地域の方々と交流しながらフィールドワークを行います。

先日は県内の菓子メーカーを訪問し、会社の方からDX推進の取り組みについてお話を聞かせていただきました。なぜDXを進めているのか、と尋ねると、「最大の要因は人手不足」とのことでした。鳥取も人口減少が進んでいます。働く人が少ない分、効率化していかないとけない。一方で、遠回りに見えるけれど、住みやすい

町づくりを進めて定住者を増やすことも重要です。住みやすさと持続性を考えると、結局のところいろんなものがSDGsにつながっていくんだな、と改めて感じました。

他にも森林組合にお邪魔して林業の現状や課題を知るなど、地域の方々と触れ合い、現場の生の声を聞きながら学べることは、とても貴重な経験となっています。



防災活動を通じた主体的な学び。被災地でのボランティアにも参加

現在、力を入れているのは、防災同好会での活動です。防災について楽しく学んでもらうため、クイズや謎解きを取り入れた体験型イベントの企画・運営を行っています。このイベントは主に本学の学生を対象に、防災をより身近に感じてもらうことをめざしています。

企画を進める中で、予想されるトラブルへの対策や、部員の学業との両立を考慮した準備の進め方など、様々な課題に直面しました。特に綿密な計画を立てる作業は大変でしたが、その甲斐あって大きなトラブルもなく、今のところ順調



に進行中です。

また、2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地でのボランティア活動にも携わりました。当初は石川県までの遠さに躊躇していましたが、鳥取県から宿泊費・交通費無料でボランティアに参加できる機会をいただくと知り、思い切って応募しました。現地での物資運搬や被災建物の片付けを通じて被災地の現状を肌で感じ、報道だけでは分からない実際の状況を目の当たりにしました。この経験を通じて、以前は苦手だったリーダーシップも少しずつ発揮できるようになったかな、と感じています。



多彩な活動で彩られる充実したキャンパスライフ。ここでの経験と学びを生かし、地域に貢献したい

現在は3つのサークルと1つの委員会に所属し、仲間たちと楽しく活動しています。様々な活



平井さんの話を動画で観よう！



平井さんの大学お気に入りスポットは？

地域イノベーション研究センター

研究や実践を通して地域の課題解決に貢献するこのセンター。

私たち学生の興味関心と地域が求める人材や

活動内容をマッチングさせ、最適な活動の機会を

提供することも行っているんですよ。

私もたびたび足を運んでいます。



moving story TUES

動に参加することで、多くの友人ができました。休日は主にインドアで過ごすことが多く、課題や資格勉強を早めに終わらせて、読書をしたり部屋のインテリアを変えたりして自分の時間を楽しんでいます。

将来は防災関連の職業に就き、地域や社会に貢献したいと考えています。具体的な職種はまだ決めていませんが、大学で学んだことを生かして、地域貢献や社会貢献ができる仕事に就けたらと願っています。これからも充実した大学生活を送りながら、自分の進むべき道を見つけていくつもりです。



SDGs

(持続可能な開発目標)

持続可能な社会をめざす大学だからこそできることを。

本学は創立以来、持続可能な社会の実現をめざしてきました。SDGsの趣旨は本学の基本理念に一致することから、2018年10月10日、大学として一丸となってSDGsに取り組むことを宣言しました。

これまでに培ってきた教育・研究の力を活用し、SDGsの達成に貢献します。



詳細はこちら

さらに詳しい内容を紹介しています



活動紹介

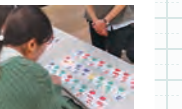
企業とのSDGs共創プロジェクト

本学の学生が、教員の指導の下、SDGs経営に取り組む県内事業者の環境問題の解決に取り組むものです。2021年度からSDGs連携事業として本学と鳥取県工業会連合会が連携して取り組んできましたが、2024年度から鳥取県も加わり、対象事業者は全県に広がりました。



SDGsカフェ

SDGsカフェは、特定のテーマについて参加者が気軽に意見交換できるカフェ形式のイベントで、学生が中心となって企画・運営しています。2024年度は、TUES地球環境を考える会が「世界を変える小さな一歩～フェアトレードで踏み出そう～」を開催。フェアトレードについて参加者の理解を促し、自分たちに何ができるかを一緒に考えました。



脱炭素

(カーボン・ニュートラル)

脱炭素に向け、取り組みます。

2023年度に本学は、環境省の「脱炭素先行地域(第3回)」に鳥取市、株式会社とっとり市民電力、株式会社山陰合同銀行とともに選定されました。4者が一体となり、2030年の脱炭素社会実現に向けた具体的な行動を進めます。また本学は、Race to Zero(2050年までの温室効果ガスの実質ゼロ排出をめざすグローバルなキャンペーン)にも参加しており、学生を含めた形で脱炭素実行計画を策定しました。

詳細はこちら

さらに詳しい内容を紹介しています



活動紹介

環境先進国フィンランドとの学生相互派遣

地球温暖化対策や脱炭素社会実現に向けて、若いリーダーの育成を目的とする鳥取県の事業に本学の学生・教員が中心的に参加しています。2024年度は、環境先進国のフィンランドと日本の学生がお互いの国を訪問し、「食の循環」をテーマとして視察や交流を行いました。



TUES Sustainability Week

TUES Sustainability Week実行委員会(学生団体)主催により、TUES Sustainability Weekを開催しています。2024年度は「芽生え」をテーマに実施し、本学教職員や行政、民間企業の方々によるトーク、パネル展示、古着古本市など様々な取組が行われました。



宇野 優芯 さん 1年生
愛知県出身
環境学部

沢山の同級生とミーティングや授業を通じて関わることができ、みんなと楽しくキャンパスライフを送っています。このような交流があることで、友達も増え、学習にもいい影響を与えます。



塚口 あかね さん 1年生
鳥取県出身
環境学部

交通面では不便なところがありますが、街中を歩いているとたくさんの自然と巡り会うことができます。また、忙しくて自分に余裕がないときでも、外に出るだけで気持ちが楽になるのでよく気に入っています。



こんなに夢中になるなんて…
先輩4名の証言

地域の人たちと協働して環境保全活動に取り組み、人と多様性に満ちた自然との共生の営みを支えたい。

三浦 達也 さん 環境学部 環境学科 2年生
兵庫県出身

小さなチョウの減少から、人と自然のあるべき関係を考える

チョウを採集するために、よくキャンパスの中を歩き回っています。虫取り網を持ってウロウロしていても、好奇の目で見られることはないですね。私はチョウですが、他にも別の生物に入れ込んでいる人もいますし、そういう興味や関心に理解があるこの大学の雰囲気居心地のよさを感じています。

私が主に追いかけているのは草原に生息するチョウです。草原に生息するチョウの生息数は近年とても減少しています。要因のひとつは植生の変化。かつて牧草地として利用されていた場所が放置され、草原に生息するチョウが食べる植物が育たなくなったことです。そこで



私は、草原の保全活動にも参加しています。草刈りが主な作業ですね。それから鹿が結構いるので、鹿が適度な背丈の低い草を食べないように柵を張ったりもします。

子どもたちに人と自然が共生する里山環境の大切さを伝えたい

かつては里山に近い場所で人々が農業を営み、生活に必要な森林資源を里山から調達していました。そこでは、人間の手が入っているからこそその生態系や資源・環境循環が維持されてきたわけです。人間の適切な関わり方によって生態系を守れることもある。そうしたことを子どものうちから知ってもらうことが、人と自然との共生を進める上でとても大切なのでは、と思います。そこで現在、私が部長を務める生物部で、地域の方々と一緒に小学生を対象にした自然観察会を企画しているところです。

実は以前にも個人的に、同じような趣旨の活動をしたことがあるんです。鳥取砂丘コナン空港で行われた「クリスマスレクチャー」。これはボ



ランティアの大学生や小・中・高等学校・大学の先生たちが、子どもたちに素敵な科学体験をプレゼントするというイベントです。私は自分が集めたチョウの標本を並べて、子どもたちに里山環境の話をしたりしました。

とはいえ生物部として行う自然観察会はチームプレイ。私にとっても初めてのことなので、ちょっと緊張しつつ、仲間たちと一緒に楽しみながら準備を進めています。

環境保護の主体は、そこに暮らす地域の人々であることを実感

生まれ育ったのは六甲山系の北側です。豊かな自然環境のもとで、虫取りや植物の観察に熱中する幼少時代を過ごしました。自然と人との関

わりや環境保全に興味があり、農林系の高校に進学して学ぶ中で、地域との関わり大切さを感じるようになったんです。どんなに専門的な知識を高めても、実際に自然環境と関わりながら暮らしている地域の方々、つまり当事者が動かなければ、環境は変わらないですから。

この大学への進学を希望したのも、「地域系」の科目が充実していることに加え、地域の活動に参加するためのサポート体制が整っていたからです。それと、ひとつの学部の中で多種多様な専門分野を学ぶことにも魅力を感じました。

いざ入学してみると、地域との絆の強さは思っていた以上でした。たとえば先にお話した草原の保全活動にしても、これから行おうとしている自然観察会にしても、学生と地域をつなぐコーディネーター役を担って下さる地域イノベーション研究センターのサポートが大きな支えとなっています。地域と共に、地域の中で何かをやりたいという学生にとっては、すごく恵まれた環境だと思います。

より深く、幅広く自分を成長させ、自然環境の保全に携わる道に進みたい

これまでの講義で印象に残っているのは「森林科学概論」です。森林の構造や樹木の同定、調査方法などを学び、その知識をフィールドワー

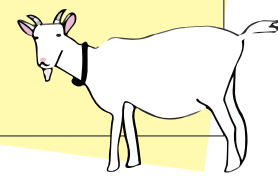
三浦さんの話を動画で観よう！



三浦さんの大学お気に入りスポットは？

ビオトープ

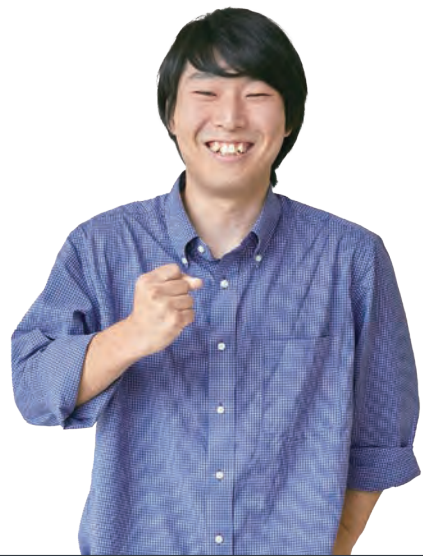
キャンパスの西側に広がる牧草地では、数頭のヤギがのんびりと草を食んでいます。その南にはビオトープも。実際に「環境」を掲げる大学らしい光景です。もちろん、生き物好きの私も何度か、このビオトープのクリーン活動に参加しました。



moving story TUES

クで実践的に生かせるところが魅力です。3年次になったら、「保全生物学」を履修したいと考えています。この大学で学び始めて、以前にも増して生き物の保全をライフワークにという思いが強くなりました。それには保全生物学の知識が不可欠です。

将来は環境保全や自然教育、地域の皆さんと連携して自然保護活動などを行う自然保護官、あるいは林野庁職員になれたらと思っています。もともと、これから取り組む研究活動の夢中になったら、大学院進学もあり、かもしれません。私にとってこの大学の「環境」が、とても性に合っているので(笑)。



地域連携

学生の成長と共に地域活性化に取り組んでいます。

鳥取県は、豊かな自然と美しい景観に恵まれた一方で、人口減少や高齢化といった課題を抱えています。本学は、地域が直面する課題に向き合い、地域とのつながりを深め、地域の課題解決や地域経済の発展に貢献できる人材の育成に取り組むとともに、これらの課題解決に貢献するため、地域住民、企業、行政機関など様々な主体と連携し、地域に根ざした活動を行っています。

また、地域イノベーション研究センターから任用を受けた学生コーディネーターが中心となって地域連携活動を促進し、大学がそれらの活動に対して活動費の助成制度を設けサポートをするなど、大学と学生が一体となって地域連携活動に取り組んでいます。

詳細はこちら
様々な活動の様子を
随時アップしています



活動紹介

地域連携フォーラム

2025年1月に地域連携フォーラムを開催し、学生15団体のポスターセッションと意見交換会を行いました。地域・関係機関の方々と本学学生及び教職員が互いの活動や日頃抱えている想いを共有し、相互の地域連携事業の今後のあり方を考えました。



地域食堂連携活動

麒麟のまち地域食堂ネットワークの指導のもと、鳥取市内地域食堂を展開する団体と連携し、地域住民や子どもの居場所づくりに参加しています。例えば「おもかげちいき食堂」では学生スタッフとして参加したり食堂で使用する食材を畑で栽培したりします。「みんなの実家」では、月に数回「環境大生の日」を設け、学習支援をはじめ主に子どもたち向けの企画を実施しています。



スチューデント・コモンズ

本学の学生研究室は、1年次からいつでも利用可能です。学生たちは、研究について仲間と議論を深めたり、資格試験対策やレポート作成などに利用したりしています。全国的にも珍しいスタイルです。

スチューデント・コモンズ内には個人学修スペースだけでなく、学生ピアサポーターが常駐しており、勉強方法のアドバイス、進路や人間関係など様々な悩みについて、より経験や知識を持つ学生に相談することができます。



詳細はこちら
さらに詳しい内容を紹介しています



高村 ゆず子 さん 3年生
沖縄県出身
環境学部

環境大学は、先生方との距離が近いことが魅力のひとつです。本学は、学部が2学部しかないことで、他大学より学生数が少なく、自分の研究室以外の先生方や他学部の先生方とも密接な関係を築く事ができます。これにより、高いレベルでの広い視野を得られるようになることは、本学の強い魅力です。



澤田 優志 さん 1年生
鳥取県出身
環境学部

環境学部では、鳥取の自然の中に身を置いて活動する、環境学フィールド演習という授業があり、実践的に学べるのが魅力だと思います！

こんなに夢中になるなんて…
先輩4名の証言



杉山 周平 さん 経営学部 経営学科 1年生
静岡県出身

入学時には漠然としていた将来の夢が
講義を通して明確になり、資格取得へのモチベーションとなっています。

不安と期待が入り混じった
鳥取県への進学

高校の進路指導の先生から進学先として鳥取県の大学を勧められた時は正直いって戸惑いました。鳥取県って思い浮かぶのは、砂丘くらいで、全く想定外な馴染みのない土地で暮らすことへの不安はとても大きく、家族も心配していました。ただ、その不安感を大きく上回ったのが一人暮らしをしたいという気持ち。自立してみたいという気持ちは以前からあったので、思い切って受験しました。

大学進学に際して、この分野の研究がしたいとか、この専門分野を学びたいという目標を見つけることはできていませんでした。経営学部を選んだのは、経営という分野では幅広くいろいろな領域の学びができて視野が広がるのではないかなと思ったからです。また、大学では簿記やファイナンシャル・プランナー（FP）の資格を取得したかったので経営学部の学びが適しているのではと考えました。

大学の講義がきっかけで
目標を見定めることができました

明確な目標をもたないまま入学した私に、将来に向けて進むべき道を示してくれたのは、光山 博敏教授の「経営戦略論1」という講義でした。海外の企業の過去の成功例や失敗例など企業にまつわる歴史や動向について熱く語ってくれる先生に惹かれ、経営の本質を基礎から学べる講義内容にとても興味をもちました。様々な経営にまつわる話に影響を受け、自分も将来は経営者という立場で仕事がしたいと強く思うようになりました。将来の夢に備えるという目的が明確になってきたため、資格取得の勉強についてもより熱が入るようになってきました。

現在は、ファイナンシャル・プランナー2級の資格取得に向けて受験対策の勉強に取り組んでいます。大学には試験勉強に集中できる環境が整っていて、特に私はメディアセンターの自習スペースが気に入っています。ほぼ



光山先生の講義風景

毎日授業のない時は夕方5時くらいまでメディアセンターで勉強をしています。勉強自体は一人でしているのですが、自習スペースは席数が多いので資格試験に向けて勉強している友人の姿も多く見受けられ、友人たちの頑張る姿を見るたびに刺激を受け、自分ももっと頑張ろうという気持ちになります。

また、先生方との距離が近いところもこの大学の良いところです。わからないところなど質問を抱えて先生の研究室にお邪魔するといつも快く迎え、応えてもらえます。勉強以外のことにでも気軽に相談に乗ってもらえるので、まさにメンター的な存在の方ばかりです。

自分は商業高校出身なのでもともと簿記を勉強していたのですが、その知識を応用したりできる講義があったり、一方で初めて受けるような難しい専門科目でも教授の丁寧な説明のおかげで、その分野を楽しむことができます。学ぶための環境が整っているのも、本人のやる気さえあれば確実に力が身につきます。

ビジネスパーソンとして必要な
知識や資格、スキルを身につけたい

ファイナンシャル・プランナー2級への挑戦の次は英語力を伸ばしたいと考えています。環境大学には英語力を伸ばせる施設として「英語村」があります。その施設内では英語しか話すことはできません。外国人スタッフと英語でコミュニケーションを繰り返すことで、実践的な英会話を学ぶことができます。まさに日本にいながら留学の体験ができるような施設です。このような恵まれた環境をうまく利用して、英語力を高めたいと思っています。また、先生からは統計学についても学ぶように勧められました。苦手な数学的な要素を必要とするので二の足を踏んでいました



試験勉強で図書館に通ううち、本を読むことが趣味になりました。光山先生から勧めてもらうなどしていろいろなジャンルの本を読んでいます。

杉山さんの話を
動画で観よう！



杉山さんの
大学お気に入りスポットは？

情報メディアセンター

図書の閲覧室には約10万冊の蔵書があり、研究や学習に集中できる環境が整えられています。個人のブース以外にもグループで使用できるラーニング・コモンズなどもあります。

また、パソコン関連の困りごとが発生したときに相談できるパソコンヘルプデスクもあります。



全国的にも珍しい円形の建物

が、頑張って挑戦していこうと思っています。このようにビジネスパーソンとして必要な知識や資格、スキルをしっかりと身につけておくことを明確に目標としてもてるようになったのも、大学のおかげだと思っています。まずは、第一線で活躍できるビジネスパーソンに、そしてその次のステップ、経営者になるという夢に向けて着実に一歩ずつ進んでいきます。

AI・数理 ・データサイエンス

社会で求められている
デジタル社会の「読み・書き・そろばん」を身につける。

AI・数理・データサイエンスを体系的に学ぶために、レベルに応じて「リテラシー」と「応用基礎」の2つの教育プログラムを2023年度から始めており、2024年8月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されました。

本教育プログラムでは今後のデジタル社会に必要な不可欠なAI・数理・データサイエンスに関わる様々な科目（講義、演習）を提供しています。リテラシーレベルではAI・数理・データサイエンスを適切に理解し活用する基礎的な能力を、応用基礎レベルでは課題を解決するための実践的な能力を磨きます。

また、本学ではさらに高い専門性を修得可能なAI・数理・データサイエンス副専攻を履修することもできます。



詳細はこちら
さらに詳しい内容を紹介しています



AI・数理・データサイエンス 教育研究センター

センター長メッセージ

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会といわれる現代において、社会や企業に最も必要とされる分野のひとつです。本学が掲げるSDGsなどの「持続可能な社会の構築」には、高齢化・所得格差といった地域問題や廃棄物処理・カーボンニュートラルといった環境問題など、解決すべき複雑で多様な社会課題が数多く存在します。これらの社会課題の解決に向け、社会に存在する多種多様なデータの関係を読み解くデータ分析・活用能力がますます重要になってきています。

AI・数理・データサイエンス教育研究センターでは、(1)機械学習などのAI技術、(2)数理・統計学や情報学に関する知識、(3)ビッグデータなど多様なデータを収集・分析する技能の教育・研究を行います。また、地元の企業や行政機関との連携によって、実際にある社会課題を学生とともに洞察します。そうした経験によって、課題に対する鋭い感性と解決に向けた自由な発想を身につけ、さらにはデータに基づく合理的な意思決定で、新たな価値を創造する人材の育成をめざします。

センター長
齊藤 哲 教授



英語村では、外国人スタッフとのチャット、ゲーム、料理などのアクティビティを通して、異文化や実用的な英語を学べます。英語を話してみたいけどなかなか機会がない、恥ずかしいという人でも、毎日気軽に行けます。また、留学に行きたい人にもこの大学はお勧めです。TOEIC取得にも積極的で、留学費のサポート、留学した先輩の体験談会もあります。留学先のひとつの環境先進国であるドイツでは、現地の産業、再生エネルギーなど環境についても学べます！

英語村



グローバル時代においては欠かせない、世界共通言語である英語でのコミュニケーション能力を楽しく身につける。

英語村は、英語圏にいるような空間で、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力の習得を図る場所です。村長の環境学部荒田 鉄二教授と日本人スタッフ2名。そして国際色豊かなスタッフや、鳥取市在住の外国人留学生の方にご協力いただき運営しています。少しの意欲さえあれば、スタッフの皆さんとの気さくな対話や、いろいろなイベント等への参加をおして力を伸ばすことができます。ぜひ、英語村を利用して、自分の人間力と英語を使ったコミュニケーション力を向上させてください。



開所日

授業期の月～金曜日
(休業日:土曜日、日曜日、祝祭日。春期・夏期休業期間中も特別実施あり)
※開所日および開所時間は、毎月アクティビティカレンダーで紹介しています。

開所時間

利用のルール

- ・会話は英語のみ(日本語は使用禁止)
- ・英語を教える場所ではなく、英語でコミュニケーションする場所です

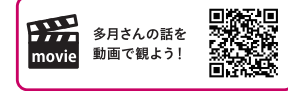
詳細はこちら
デジタルパンフレット等
ご覧いただけます



国際交流についてはP55へ ▶▶▶

生なので専門的な経営の科目より、広く一般教養的な科目が多いですが、中でも環境大学ならではの科目が「鳥取学」。鳥取県について歴史や環境など様々な角度から考察する科目で、鳥取県で生まれ育った私にとっても新鮮な視点で鳥取県を見つめ直せます。地元民が囚われがちな固定観念を払拭できる科目です。

スポーツクライミングの競技を生活の中心に置いたような高校までの自分から大学生になって再度自分を見つめ直し、今後どのようにキャリアアップしていくかについて今は真



多月さんの大学お気に入りスポットは？

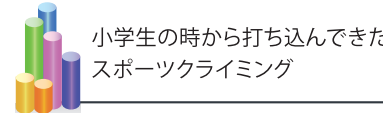
キャンパス近くの「たこ吉」

通学路の道沿いにある、たこ吉というお店。
お店の名前の通り、たこ焼きがメインのお店なんですが、ここで売られているもうひとつの名物が、たい焼き。
独特のモチモチの生地が特徴で、今はまっています。
ぜひ食べてほしいもののひとつです！



多月 萌々菜さん 経営学部 経営学科 1年生
鳥取県出身

地元・鳥取県や経営について深く学び、様々な人との交流を経て自分自身と向き合い成長していきます。



小学生の時から打ち込んできたスポーツクライミング
スポーツクライミングを始めたのは小学6年生の時。この競技にはボルダー、リード、スピードという3つの種目があります。ボルダーはいかに少ない登攀(とうはん)回数で課題をクリアできるかを競う種目で、リードは6分間でどこまで高く登れたかを競います。この2つは通常コンバインド(複合)の競技として争われます。残りひとつが、スピード。文字通りいかに早く登るかを競います。私は、鳥取からオリンピック選手を輩出しようという目的で結成された「チーム鳥取」に小学4年生の時に応募し、採用されたのが、スポーツクライミングとの出会いの場となりました。当初はボルダー・リードに取り組んでいましたが、パリオリンピックへの出場を視野に入れて中学2年からスピードに転向しました。スピードは速さを競うので、自身の成長が目に見えてわかり、私には性格的に合っていたと思います。高校2年で日本代表になり、インドネシアでのワー

ルドカップに出場しました。高校3年ではU20の日本代表としてシンガポールで行われたアジア大会で2位になり、初めて表彰台に登ることができました。そしてその次の目標は大学進学。私は鳥取県内での進学を考えていました。というのも、スポーツクライミングの練習環境が整っているという理由に加えて、クライミングを通して知り合った海外の人たちから『名探偵コナン』つながりで鳥取県を知ってもらっているなど、鳥取県のポテンシャルの高さを身をもって感じていたからです。鳥取県にはたくさんのチャンスがあると知ったので、大学ではそのチャンスをどう生かせるか、そのためにはどんな方法があるのかを学びたいと思い、それには経営学部が最も適していると考え、環境大学を選びました。ただアジア大会で痛めた右手指の腱の手術の時期がちょうど受験のタイミングと重なり、かなり焦ったというハプニングがありました。



大学では、様々な知識やスキルを吸収し経営の知識を深めたい

受験時期に、経営という言葉で連想したのは父の仕事でした。父は会社を経営していますので、その多忙さもそばで見ながら育ちましたが、その姿に常に憧れを抱いていました。自分なりに経営について知識を深めたいと考えており、特にマーケティングやブランディングなどについて掘り下げて学びたいと思っています。まだ1年

私は県外出身者で鳥取県に今まで訪れたことがありませんでした。しかし、豊かな自然が織り成す観光資源、特に鳥取砂丘には自然の雄大さを前にして胸が熱くなりました。また、冬には足まで積もると噂の大雪。まだまだ体験したいことが沢山あります。

林原 優妃さん 1年生
鳥取県出身
経営学部

入学前は、あまり先生との関わりは少ないと思っていたけど、ひとつのチームに先生がついてくださるので、分からないことがあればなんでも聞けるし、困ったことがあったら相談にのってくださるので安心です。

板東 沙恵花さん 1年生
徳島県出身
経営学部

TUESでの学び

7つの学修分野・教職課程と「副専攻」

環境学部と経営学部がある本学。

環境学部には3つ、経営学部には4つの学修分野があり、幅広い学問領域に対応しています。

また、環境学部には教職課程(理科)もあります。

主専攻に加え、5つの副専攻もあり、

より多角的な視点や境界を超えた発想力を養います。

環境学部 環境学科

人間形成教育

- 情報処理科目
- 総合教育科目
- キャリアデザイン科目
- 外国語科目



プロジェクト研究

経営学部 経営学科

「環境」の専門知識と技術を学び社会のために提案・実践できる能力を養います。

自然環境保全

▷P.19

動物、植物、大気、水、地形、地質を中心に自然環境のメカニズムについての基礎知識を学び、地上気象観測や衛星観測を通じたモニタリング技術などの応用技術を学びます。

人間環境

▷P.23

人間が快適な生活をするために作りだしてきた住まいをはじめ、都市、農村、緑、景観、文化などの人間と社会をとりまく環境について、自然と共生するあり方を学びます。

循環型社会形成

▷P.21

廃棄物処理、リサイクル、環境汚染対策、再生可能エネルギーの有効活用について学びます。また、行政や社会制度も学ぶことで、総合的に循環型社会の形成について学びます。

教職課程

▷P.25

教員免許を取得するには、環境学部の卒業要件を満たすことに加えて、教職課程専門科目、教育実習、その他免許取得のために必要な科目を修得する必要があります。

分野別副専攻

経営学

AI・数理 データサイエンス

環境学

課題別副専攻

英語実践

地域実践 (麒麟)

副専攻

多様なビジネス社会で活躍するための原動力、マネジメント能力を養います。

企業経営

▷P.33

国内外で活躍できる人材へ。経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えた、グローバル時代に対応した能力の修得をめざします。

地域経営

▷P.37

地域の様々な課題を理解し、経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得をめざします。

会計・ファイナンス

▷P.35

専門性を備えたジェネラリストへ。経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得をめざします。

経営情報

▷P.39

経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得をめざします。

副専攻制度のほかに、所属学部以外の学部で開講されている科目を履修できる他学部履修制度もあります。



吉村 未来 さん 2年生
兵庫県出身
経営学部

大学は高校とは違い担任の先生はいませんが、わからないところは理解するまで優しく説明をしてくれます。また、先生と仲良くなることでゼミの相談や資格の勉強と一緒にしてくれます。この大学の先生はとても優しくて接しやすい先生が多いです。



樋開 真子 さん 1年生
徳島県出身
環境学部

環境大学は少人数の大学です。先生方との距離がとても近く、私も最初は驚きました。大学は高校までとは違い、先生方に気軽に話せる環境ではないと覚悟していました。しかし、実際入学してみると気さくで優しく、面白い先生ばかりで緊張が解けたのを覚えています。

人間形成教育

国際性から地域性、
自然科学から社会科学、人文科学まで、
「知力」「人間力」「対応力」の
土台をつくる幅広い学び



人間形成教育は、環境視点と経営視点を備えた「知力」と、英語でのコミュニケーションや地域の人々との触れ合いを通じた実践的な「人間力」養成のための学びの場です。人間形成科目は、「総合教育科目」「キャリアデザイン科目」「情報処理科目」「外国語科目」の4つの科目群と、「プロジェクト研究1～4」という学内外をフィールドに行われる総合演習科目で構成されています。これらの科目により、企業や地域のリーダーとして活躍するための土台を築きます。

教員紹介 人間形成教育センター



人間形成教育センター長
イマイ マサカズ
今井 正和 教授
情報の収集と蓄積／可視化

豊かな教養で人間の幹を太くして、
人生を楽しめる人間になろう。

卒業してから新しい学問を一から学ぶことはよくあることです。それでも私たちが前進して行けるのは「教養」があるからです。本学では、その教養の土台となり、各々の専門性を深める力となるように4つの科目群と総合演習を設定しています。また、自分が所属する学部・学問分野だけではなく、在学中に幅広い分野の基礎を身につけられる副専攻制度も設定しています。本学で素晴らしい人生の一步を踏み出しましょう。



人間形成教育センター 副センター長
アラタ テツジ
荒田 鉄二 教授
環境哲学／文明論／持続性論

自分の人生を自分で決めるといふ観点からすると、その中で自分が生きる世界がどのようなものであるのかを知っていることが大切でしょう。幅広く人間形成科目を学ぶことを通じて、大まかではあるにしても現代社会の全体像を示す、いわば「地図」を身につけましょう。



地域イノベーション研究センター長
人間形成教育センター 副センター長
ヨシナガ イクオ
吉永 郁生 教授
海洋微生物学／微生物生態学

大学では知識を自由自在に運用することを学びます。現代の環境学や経営学が直面する課題には必ずしも定式がありません。我々は一つひとつの課題に、広範な知識を総括的に運用することで答えを導き出します。まずは身の回りの小さな出来事に注意を払うことから始めてみてください。



トクヤマ ミズフミ
徳山 瑞文 教授
英語教育

"There are so many different varieties of English that there is really no such thing as 'English' - there is only 'Englishes'." Please enjoy communication with more people around the world in your 'English', no need to worry about your mistakes.

総合教育科目

確かな知力の土台となる基礎学力に加え、
環境と経営2つの視点を修得

自然科学、社会科学、人文科学を学び、教養をより豊かにします。
さらに、「相互履修」制度により、
環境と経営の学部の垣根を越えて学修することができます。

相互履修科目

自然環境保全概論、循環型社会形成概論、
経営学入門、現代経済学入門 など

授業科目

鳥取学、文章作成1・2、数理基礎、
環境学概論、SDGs基礎、
地理学入門 など

外国語科目

授業と英語村で伸ばす実践的な英語力

グローバル化が進む現代においては国際的な視野と、多様な文化をもつ人々と円滑なコミュニケーションを図る能力が必要です。そこで、英語(特に会話)能力のさらなる向上をめざし、授業に加えて英語村も活用して実践的に学びます。

第二外国語

環日本海という視点から本学は 外国人スタッフとチャットや料理などのアクティビティを通して、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力を修得します。

英語村を設置

Intensive English1～8、Advanced English、中国語1・2、韓国語1・2、ロシア語1・2、海外英語研修A～C、英語特別講義A～D、基礎英語能力養成A・B など

4つの科目群 + プロジェクト研究

情報処理科目

「しづとユーザー」をめざして
パソコンを使いこなそう

全学生がノートパソコンを所有し、研究や実社会で役立つ実践的な情報処理能力を身につけます。

今や必需品となったパソコン。これを有効に使うか使わないかで、4年間の学生生活が変わってきます。パソコンを使いこなす力を身につけます。

授業科目

情報リテラシー1・2

プロジェクト研究

様々なふれあい、学び合いを通して
自分で考え、自ら行動する力を養成

プロジェクト研究1～4では、学生が自分の頭で考え、他者と協働しながら行動することを重視し、大学で学修していくために必要となる能力を養うことをめざします。

「思考力」「判断力」「表現力」の3つの力を育て、「自分の意見をもちつつ多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育むことをめざした授業を行います。プロジェクト研究1～4までを履修することにより、学ぶための基礎力を段階的に養います。

キャリアデザイン科目

与えられた4年間をどう過ごすかで将来に差がつく

イメージを形にするのは難しいもの。大学生生活や研究、就職活動も同様です。それらをよりよい形でどう具現化するか、考え方と行動の仕方を学びます。

学び方を知る

社会を知る | 仕事を知る | 自分を知る

将来を描く

行動する

授業科目

キャリアデザインA・B、
基礎インターンシップ など

プロジェクト研究

6つの要素を鍛える プロジェクト研究1～4



プロジェクト研究の流れ

- 1 テーマの決定**
様々な研究テーマの中から、自分に取り組むテーマが割り当てられます。
- 2 情報収集と検討**
テーマに関する情報を収集し、教員や仲間と討論し、問題解決への仮説をたてます。
- 3 調査や実験**
作業の手順や分担を決め、現場に行き、聞き取り調査やデータ収集、実験を行います。
- 4 再検討とまとめ**
調査や実験結果に基づいてさらに検討。調査をまとめ、問題解決のための提案を行います。
- 5 プレゼンテーション**
研究成果をパワーポイントでまとめます。
- 6 公開**
プレゼンテーション後、研究成果を学内のネットワークで公開します。

2024年度実施内容(一部)

プロジェクト研究とは、ある特定の課題やテーマに対して、グループや個人で深く掘り下げて研究を行い、その成果を発表する活動のことです。単に知識を学ぶだけでなく、自ら課題を見つけ、解決策を模索し、実践することで、創造性や問題解決能力、コミュニケーション能力などを養うことを目的としています。単なる知識の詰め込みではなく、自ら考え、行動し、課題を解決していく力を養う上で非常に重要な活動です。これからの社会では、変化に対応できる能力や創造性が求められており、プロジェクト研究はそのような能力を育成するための有効な手段のひとつと言えるでしょう。

プロジェクト研究テーマ例

地域実践 (麒麟)

- 鳥取での再生可能エネルギーの活用を考えてみよう
- 学校の適正規模を考える～学校の小規模化と統廃合～
- まちのなかの国際化を調べよう など

SDGs

- ローカル鉄道から考える地域交通
- エネルギー政策とまちづくり
- トイレから、暮らし・社会を考える など

グローバル

- 民主主義を考える
- いろいろな「モノ」や「コト」の歴史について調べよう。
- 鳥取でグローバル社会を考える など

一般

- Ruby言語でプログラミングを始めよう!
- 今時のAIの仕組みを探る
- 帰ってきたこちらTUES TV!! など



BANVILL, Sean 准教授
英語教育／英語言語

Hello everyone. Welcome to Intensive English. I'm your Listening and Speaking coordinator. All our teachers are working hard for you. Your English classes will help you to improve your communication skills. Your hard work in class will help you a lot in your future. I look forward to meeting you, and to seeing you succeed at TUES.



サステナビリティ研究所 副所長
ホリ マイヤ
堀 磨伊也 准教授
パターン認識・機械学習

近年、ビッグデータが容易に取得できるようになり、人工知能は日常生活において活用されています。ここで必要となる数理的思考やデータ分析・活用能力を磨き、社会における様々な問題を解決し、データから新たな価値を生み出す能力を身につけます。



MOUA, Jennifer 講師
英語教育／国際化学

It is such a joy to be a part of the Intensive English Program. You will create wonderful connections with your classmates and your teacher. I am here to help you and make sure you will learn and enjoy your English classes. English is a widely-spoken global language and I want you to be a part of it. I believe in you, I'm listening to you, and know that your future starts from here.



イチマル ナツキ
市丸 夏樹 准教授
自然言語処理／計算言語学

今日では、インターネットを通じて世界中の人々とのコミュニケーションが可能になっています。情報リテラシー科目では、コンピュータの操作から、サイバーセキュリティまで、現代のネット社会での生活に欠かせない実践的な知識と技能を身につけます。



カドタ シンヤ
門田 慎也 講師
解析的整数論

みなさんには、夢中になれるものはありますか?夢中になれるものがまだない人は、いろいろなことに挑戦してみてください。"なんとなく"とか"好きだから"という理由で始めたことに夢中になれるかもしれません。夢中になれるものを見つけ、思い出に残る楽しい大学生活を送ってみませんか?



特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています



西森のあ さん 1年生
愛媛県出身
環境学部

人数がほかの大学に比べて、少ないのでなかなか仲良くなれると思います。英語のクラスが二年間同じことやサークルの数も多いことから、いろいろな人と関わることができるいい機会です。



内田 悠仁 さん 1年生
岡山県出身
経営学部

教員との距離が良い意味で近く、特に学食で食事をともにする時などは「教員と僕たちは同じ屋根のした共に学が仲間なのだ」と強く感じられました。普段、教壇でそれらしく指導している先生方が昼下りの学食で一人でご飯を食べているのはとても不思議な現象です。これは、大学に入学して初めて味わう面白い感覚でした。

環境学部 環境学科

Faculty of Environmental Studies

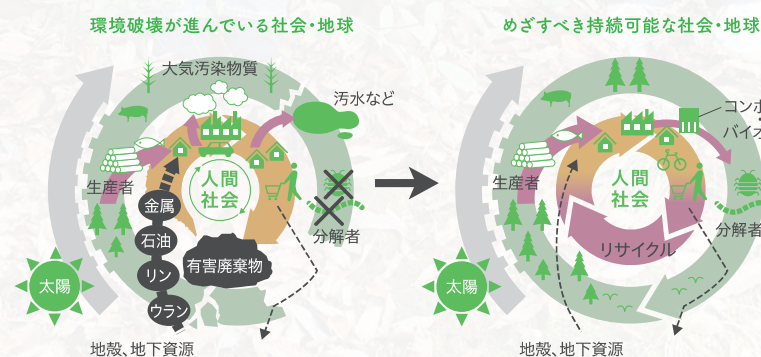
サステナブルな社会を創る、君の答えを見つけよう。

「環境」の専門知識と技術を学び社会のため
提案・実践できる能力を養います。

「自然環境保全」「循環型社会形成」「人間環境」といった視点から持続可能な社会づくりのための具体的な提案、実践ができる能力、また、この能力に深く関連した問題解決能力の醸成をめざしています。

持続可能社会の概念図

凡例 ■自然環境保全系科目 ■循環型社会形成系科目 ■人間環境系科目



人と社会と自然の共生のために

「環境」を実践的に学ぶフィールドワークに1年次から取り組むことができる内容となっています。また、幅広い分野の環境関連科目も用意しており、人と社会と自然との共生のための環境問題解決能力をはじめ、行動力やコミュニケーション力といったあなたの未来へつながる人間力にも磨きをかけます。

● 自然環境保全分野

● 循環型社会形成分野

● 人間環境分野

+

● 教職課程

環境学部
学びの
特徴

01

持続可能な人と社会と自然の在り方などの現代社会が抱える環境問題に関する自然科学的知識や社会科学知識を正しく理解できる能力

02

環境問題の改善を考えるうえで必要な思考力やコミュニケーション能力

03

データ解析能力、そしてグローバルな視点および地域に根ざした視点から、問題の改善についての対策を提案できる能力

3つの分野から「環境問題」にアプローチし、時には現場にも参加



自然環境保全、循環型社会形成、人間環境という3つの側面から「環境」について考えていきます。1・2年次は環境学の基礎を幅広く学び、3年次以降はそれぞれの専門分野について、より深く学習していきます。

また、学術的な研究をするだけでなく、実際に現場が抱えている課題に触れることで実践的な知識を身につけます。企業や地方公共団体に対して、調査・研究した結果を報告したり、課題について提案を行ったりすることもあります。

フィールド活動の基礎的知識の修得「環境学フィールド演習」



フィールド活動の基礎的なノウハウを修得し、体験を通して、理解を深める授業が、1年次に用意されています。3つの専門分野の領域を順次バランスよく取り上げ、学びます。

例えば、鳥取県と兵庫県の県境にある中国地方では大山に次ぐ高峰である標高1,510mの水ノ山にのぼります。フィールド演習として、環境学部1年生約150名で、教授陣とともに植物や地質などの観察を行いながら、豊かな自然を楽しみます。

五感を研ぎ澄まし、主体的に探究する力を養おう。

環境学部では、学生が実際に農業や林業、地域コミュニティに入って調査やヒアリングなどを行うフィールドワークを教育の柱のひとつにしています。たとえば山の近くの集落に大きな古民家がある。これを何とか活用できないかという時、実際に行き、何なら一晩寝てみて、村の人たちと言葉を交わす中で、初めてわかることがあるかも知れません。実際に見て、聞いて、触って、自分なりに考え、仮説を提示して検証し、知見を構築していく。その過程で身につく俯瞰的な視点や思考力は、変化の著しいこれからの時代を生きる上で、大きな支えとなるはずです。豊かな自然環境に囲まれ、地域社会や地元企業、行政とも距離が近いという本学の特色を生かし、思い切り動き、時には悩み、達成を喜びながら成長してください。

張 漢賢 教授



環境学部 学部長
張 漢賢 教授
【専門分野】
都市計画学/人間居住論

環境学部 副学部長
門木 秀幸 准教授
【専門分野】
環境分析/
廃棄物・リサイクル工学

模擬授業動画を公開しています。



當間 日向 さん 3年生
沖縄県出身
環境学部

先生方がとてもチャームングなので、講義で退屈しないです。講義の合間にテニスの話をする先生や、マルハナバチの可愛さを語る先生など、個性豊かな先生ばかりです！



大西 さくら さん 3年生
愛媛県出身
環境学部

環境学部の魅力はフィールド演習という授業を通して理解を更に深められるところです！実際に森林などのフィールドに出て、自然の中で学ぶことが出来るのが座学には無い部分だと思います。周辺に散策に行ける場所があるのも含めて環境大学の魅力です！





自然環境の成り立ちやメカニズム、生物の知識をフィールド調査などを通じて学べます。

自然環境の成り立ちについて基礎を中心に学修します。
自然環境に関する幅広い知識をもったうえで、
将来、自然環境保護や環境アセスメント関係、あるいは
農林水産業に関連する分野での活躍を希望する学生や、さらに大学院へ進学して
自然環境についてより深く学ぶことを希望している学生向けです。

学びの POINT

大気、水、地形、地質など
自然環境のメカニズムを
学びます。

動物、植物の生態系の
視点から生物に関す
る知識を修得します。

森林、河川、海岸などの
フィールドでの調査・演
習を重視しています。

取得目標 Certification

環境計量士 気象予報士 自然再生士補
環境カウンセラー 森林インストラクター eco検定



19



太田 新志 さん 1年生
静岡県出身
環境学部

様々な都道府県から学生が集まるので、個性的な人が多く、楽しい大学生活を送ることができます。

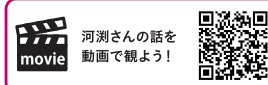
先輩 VOICE



稲が土壌から吸収する養分の量を根気よく調べています。

河渕 翔太 さん 4年生
愛媛県出身

有機肥料でお米を作る場合、化学肥料を使用する慣行農法と比べ、
収穫後に田んぼに残る養分の量がとても少なくなります。そのため毎
年、養分を補充してあげないといけません。田んぼに入れた養分は収穫
後、ほぼゼロになります。養分を蓄積させて、次の年に持ち越せないも
のか。有機稲作農家にご協力いただき、まずは稲がどれくらい養分を吸
収しているのかを調べています。稲の周りの土のサンプルなどを採取
し、稲も藁、籾、米ごとに分析
し、稲の養分吸収の実像に
迫りたいと粘っています。



Research Works 研究紹介

土壌の形成と 劣化のメカニズムを解明し、 環境問題を解決する手がかりをつかむ。

土壌とは、地球の表面を覆っている柔らかい層で、岩石の風化物や動
植物の遺体やその分解物が長い時間をかけて生成した自然物です。土壌
は数千年、数百万年以上かけて生成されます。近代化以前の日本では、土
壌の劣化と生成・修復のバランスが、ほぼ保たれていました。ところがこ
100年くらいの間に、拡大し続ける人間の経済活動によって、生成が劣化
に追いつかなくなっています。この生成と劣化の過程を理解し、環境問題
にどのように対応するかを考えることが、私の研究の大きなテーマです。

土壌の生成過程では「腐植」と呼ばれる有機物が重要な役割を果たします。腐植は土壌の中にある
黒い部分で、植物の栄養供給や保水性の向上に貢献します。この有機物が減少すると土壌の劣化が進
み、生態系や農業に深刻な影響を与えます。この問題を解明するため、私は土壌が生成する自然のサイ
クルと、それがどのように壊れていくかの過程を詳細に研究しています。

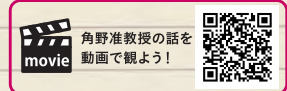
また、山地から流れ出した土壌は川によって下流に堆積します。つまりその堆積物の成分は、上流域
の地質や土壌の劣化状況を反映しているわけです。河川水に含まれる土壌の成分を分析することで、
上流域の土壌劣化の程度を把握できれば、環境保全や防災に役立つはずです。私は、これを「土壌の
血液検査」と捉え、河川水から流域全体の土壌の状態を診断できる仕組みの構築をめざしています。

フィールドワークは研究に欠かせません。山や川、農地などで土壌を採取し、その成分を調査する
ことで、どのような条件でどのような土壌が生成するのかを明らかにします。想像通りの結果が得ら
れることもありますが、全く予想外の発見がある場合もあります。そのような瞬間、過去と現在を行き
来しながら土壌生成の歴史を追体験する楽しさを感じています。



角野 貴信 准教授
【専門分野】
土壌学／生態系生態学／生物地球化学

専門分野は土壌学、生物地球化学。主な研究テーマは、河川堆積物及び懸
濁物のアノマリーデータから予測される流域土壌から水系への物質移動
過程に関する研究、有機質材を用いた土壌有機物の蓄積及び分解過程の
解明とそのモデル化、など。「皆さん、山に登る機会があれば、ぜひ樹木や花
だけでなく、植物の下にある土壌に視線を向けてください。土壌をよく知り、
観察することが、やがてはそ
の先に広がる環境問題とそ
の解決法の探求につなが
るはずです」



例えば こんな授業

- ▼ 自然環境保全概論
- ▼ 環境と倫理
- ▼ 地球観測学
- ▼ 動物行動学
- ▼ 保全生物学
- ▼ 植物学概論
- ▼ 海洋環境学
- ▼ 水域生態学

- ▼ 環境ゲノム科学
- ▼ 地球システム学
- ▼ 気象学概論
- ▼ 環境地質学
- ▼ 森林科学概論
- ▼ 森林資源管理論
- ▼ 水環境学
- ▼ 環境土壌学

例えば こんなゼミ

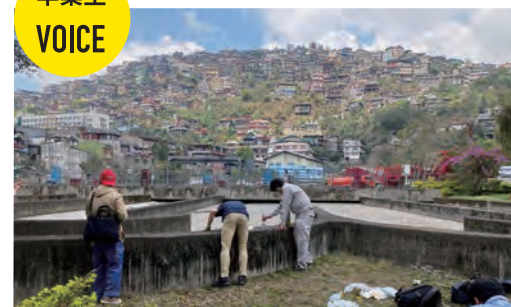
野外、飼育下の動物観察をととして
動物の生態や社会の解明をめざします。



谷口 晴香 講師
本ゼミでは、鳥取県に生息す
る哺乳類や全国に点在する野
生ニホンザルの生態、動物と
人間の関係に関する研究など
を進めています。動物生態学
や動物行動学に関する基礎

的な知識・技術の習得をめざし活動しており、また、主に野外で動物の調
査も行っています。動物の生態や社会を知ることには動物たちと共存する
上で重要なことだと考えています。

卒業生 VOICE



フィリピンのバギオでの採水作業風景。汚水がどのくらい汚れ
ているかを、実際の水を取って分析に回します。

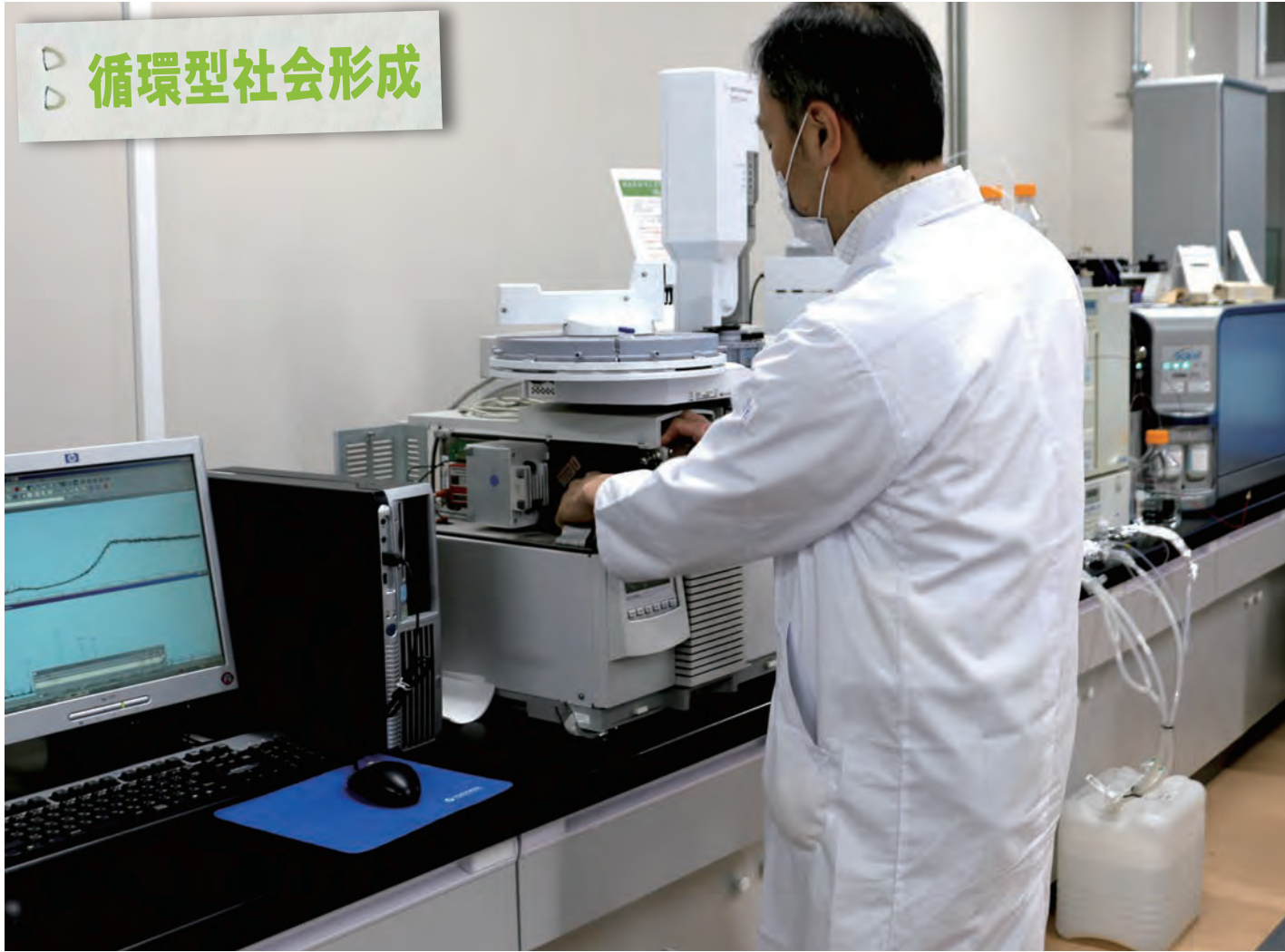


田中 詩織 さん 3年生
北海道出身
環境学部

特別演習といった課外授業が複数あり、学年学部問わず貴重な体験をできる機会が多くあります。経営
学部の学生と参加した林業体験ではチェーンソー体験を行い、普段の授業にはない分野の技術を学ぶ
様子がとてもいいと感じました。



20



再生可能エネルギーやリサイクルについて。 また、行政や社会制度の仕組みも学べます。

持続可能な社会の構築に求められる再生可能エネルギーの活用方法や
廃棄物処理などについて、基礎から応用までを一貫して学びます。
エネルギー関連や産業廃棄物処理関係の民間企業のみならず、
一般企業や地方自治体の環境関連の部署での活躍を希望する学生向けです。

学びの POINT



天然資源の活使用、廃棄物処理、資源のリサイクルについて研究します。



工学的技術分野を中心に行政や社会制度についても探究します。



eco検定など、環境に関する資格取得がめざせる講義を実施します。

取得目標 Certification

公害防止管理者 廃棄物処理施設技術管理者
環境計量士 技術士補(環境部門・上下水道部門)
脱炭素アドバイザー 3R・気候変動検定 eco検定



大久保 椋平 さん 2年生
佐賀県出身
環境学部

環境学フィールド演習があり、1年生から実習の経験を積むことができます。若葉台周辺の散策や下水処理施設の見学、氷ノ山の登山など、ゼミ選択時に自分がどの分野に進むかを決める際の大事な基盤づくりとなる授業です。

Research Works 研究紹介

多様な有機性廃棄物をエネルギーに変え、 地域から循環型社会の実現をめざす。

大学・大学院では土木工学を専攻し、とある地方自治体の職員になりました。そこで下水道部署に配属されたのが、研究者になったきっかけです。土木工学では安全・安心が最優先されるため、実際のインフラ整備で実験的なことはあまり行われません。一方、水処理技術は日々研究されており、新しい処理方法が次々と開発されています。下水処理場でも様々な新しい水処理技術の実証実験が行われています。初めて下水処理の担当になった時は「なんだか面白そうだな」とワクワクしました。

現在は、「メタン発酵」という処理の研究を行っています。メタン発酵は有機性廃棄物を微生物の力で分解・ガス化する処理方式です。処理の過程で発生するバイオガス中にはメタンが含まれており、燃やすことで発電や熱エネルギー利用が可能です。地域では下水汚泥、生ごみ、畜産廃棄物、稲わらなど、様々な有機性廃棄物が発生しており、これらを混合しメタン発酵処理することで、廃棄物からエネルギーを取り出すことができます。メタン発酵処理では、まだ未解明な部分も多く、処理の効率の向上や微生物の機能解明に私の研究室だけではなく世界中で研究が行われています。

メタン発酵でのバイオガス発生量は扱う廃棄物の種類によって違います。私の研究室ではいかに多くのバイオガスを発生させるか?いかに速くバイオガスを発生させるか?などのテーマに学生と一緒に取り組んでいます。例えば、微生物の餌となる廃棄物や、メタン発酵を担う微生物に様々な条件でマイクロ波を照射してどのような影響がでるかを実験しています。マイクロ波は電磁波の一種で家庭用電子レンジなどで広く一般に普及していますが、その効果でバイオガス発生量が一定程度増加するという結果が得られています。

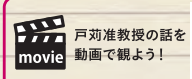
また、メタン発酵槽の温度を急に变化させてみた時に、どのような影響があるかも調べています。ある程度の温度変化に対応できれば、災害時に停電などが起きても、下水処理場のメタン発酵槽で発電が継続できるかもしれません。「世界でまだ解明されていないことを明らかにすべく研究に取り組む」と聞くと、ワクワクしませんか?

今後は、これまでは「処理・処分」してきた廃棄物を資源として「利用」することが求められています。循環型社会の実現へ向けて日々研究に取り組んでいます。



戸苅 丈仁 准教授
【専門分野】
水環境工学／下水道工学

専門分野は下水道工学、水処理工学、バイオマス利活用(汚泥処理)、水環境工学。主な研究テーマは、下水汚泥と廃棄物系バイオマスによる混合消化、下水汚泥へのマイクロ波照射前処理による嫌気性消化高効率化など。「最初から廃棄物、下水、水処理などに興味を持っている学生は、さほど多くないでしょう。環境学部で多様な学問分野に触れるうちに、リサイクルや生物処理が面白そうだと感じて、私の研究室に来るケースが大半だと思います。かつての私がそうだったように、「なんだか面白そう」という動機は大事なのかなと思います」



例えば こんな授業

- ▼ 循環型社会形成概論
- ▼ 環境法概論
- ▼ 環境行政論
- ▼ 環境アセスメント概論
- ▼ 環境とエネルギー
- ▼ 大気汚染防止
- ▼ 廃棄物マネジメント学
- ▼ 3 R 工学

- ▼ 廃棄物処理技術
- ▼ 水環境工学 1・2
- ▼ 水処理技術
- ▼ 応用微生物学概論
- ▼ バイオマス変換論
- ▼ 有機資源利用学
- ▼ 地域エネルギーシステム論

例えば こんなゼミ

当事者と研究者との協同的実践活動により、
様々な分野での現状を改善します。



甲田 紫乃 准教授
脱炭素・環境教育を軸としたまちづくり、ESD(持続可能な開発のための教育)をテーマに、鳥取県内でのフィールドワークや、地域の方々との様々な協同的実践を行います。

また、社会心理学の基礎をテキスト・学術論文の輪読を通して学びつつ、英語が好きな学生を代表として「国際シンポジウム」や「国際ゼロカーボン会議」などに参加。プレゼンテーションの経験を積み、視野の拡大も試みます。

卒業生 VOICE



山居 一輝 さん 1年生
大阪府出身
環境学部

環境学部では、一年生の前期から、環境学フィールド演習などの実践的な科目を学べます。また、環境に関する幅広い分野の先生方がおられ、専門的な授業を受けられるので、とても充実しています。

大学で取り組んだ脱炭素社会に向けたメタン発酵処理技術の研究を仕事で生かしています。

谷本 大樹 さん 広島県出身 2022年3月卒業
勤務先:株式会社 神鋼環境ソリューション

自然に恵まれた田舎で育ったので、高校の近くの川が汚れていることに驚かされたのが環境問題に興味をもったきっかけでした。大学では2年次に公害防止管理者(水質関係)の資格取得を目標に、次に3年次では環境計量士の資格取得を目標に頑張りました。このような資格取得の勉強を進めるうち、特に水処理の技術についてとても興味をもつようになりました。戸苅先生の研究室に所属し、嫌気性微生物によって有機物を分解し、メタンガスや二酸化炭素を生成するメタン発酵について研究に取り組み、卒業後もメタン発酵技術を生かせる企業を就職先として探しました。就活においても戸苅先生は熱心にご指導いただき、おかげで念願の企業に入社が叶いました。現在は、メタン発酵処理を行うプラントの試運転業務を担当し、施工されたプラントの機器やシステムが設計通り稼働しているかなどを評価・確認しています。これからもより高効率でメタン発酵のできる技術の開発に携わっていきたくと考えています。





人間環境

人間の居住空間を始め、都市や地域資源など 人と社会を取り巻く環境全般を学べます。

人間が生活するために構築した住まいをはじめ、都市、景観、まちづくり、地域資源、文化などの人間と社会をとりまく環境が自然と持続的に共生するあり方について学修します。
住まい、都市、景観、まちづくり、地域振興などの計画・設計・提案等に携わる民間企業や公共団体等での活躍を希望する学生向けです。

学びの POINT



環境に配慮した暮らしを実現する居住空間を学びます。



持続的に利用できる可能性あふれる住居や都市を研究します。



手描き製図とCADによる製図にも取り組みます。

取得目標 Certification

CAD検定 造園施工管理士 ビオトープ管理士

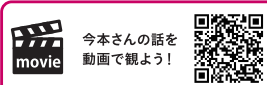
先輩 VOICE



キャンパスから飛び出し、様々なフィールドで活動できる
ところが大きな魅力です。

今本 大弥 さん 3年生
鳥取県出身

鳥取の豊かな自然に触れて育ったので、地元の様々な場所に実際に足を運んで活動する機会が多い環境大学に魅力を感じました。3年次からは、山口 創准教授の研究室で、エゴマを用いて、過疎化の進む若桜町という農村地域の活性化を図る活動を行っています。エゴマは匂いが強く獣害の被害が少ないという利点があり、この地域に適しているもののエゴマ自体の知名度がまだまだ低く、どのように消費者に認知させていくかが課題です。研究室で以前はエゴマを使った「食べるラー油」を製品化したことがあると聞き、私たちも何か商品化をと考え、昔作られていたエゴマの餅を復活させよう計画しているところです。



今本さんの話を
動画で観よう！



菅 裕人 さん 1年生
愛媛県出身
環境学部

環境などについて教科書や資料だけで学ぶのではなく、実際にフィールドに出て五感を通して学んでいくことができます。フィールドワークを積極的に取り入れている環境大学だからこそ得られる経験が将来の自分の糧になると思います。

Research Works 研究紹介

地域に眠る 様々な資源を掘り起こし、 農業と農村の未来につなげたい。

薦池(こもいけ)大納言という小豆があります。京都府北部の薦池集落発祥の在来品種です。一般的な大納言小豆の倍以上の大きさが特徴で、香りと味も高い評価を得ています。しかし過疎化と高齢化の進んだ結果、2010年には薦池で小豆を作る農家は1人だけになってしまいました。これに危機感を抱いた地元の有志たちが2012年に生産組合を立ち上げ、小豆のブランド化、加工生産などの取り組みを進めた結果、今では薦池大納言は、地域の持続可能性を支える核になっています。

このように地域固有の品種が、実は全国的に注目を集める可能性を持っているケースは他にもあります。しかし地域の人々が、自分たちの資源の価値に気づいていないことも少なくありません。農産物だけにとどまらず、地元の人たちが当たり前に感じて気づかない、その地域の魅力や可能性を掘り起こし、日本の農業、農村を元気にしたいというのが、私の研究のひとつの柱です。

有機農業の振興も、これからの農業の大きな課題です。有機農産物のニーズは、世界的に拡大しています。しかし日本のように、高温多湿で雑草が茂りやすく害虫も多い条件下で有機農業を行うには、高い技術とノウハウの蓄積が必要です。それでも、ブドウやモモなど、農業使用が欠かせないとされる果樹栽培を無農薬で行っている農家が存在します。そうした農家が持っている技術が地域の中でどうやって生まれ、どう広まっていくのか。そのメカニズムを解明するために、現地調査を重ねています。

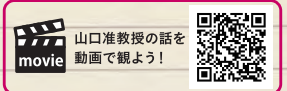
願うのは、農家自身が主体的に未来を描ける社会を実現すること。行政に依存するのではなく、自らの手で地域の可能性を追求する。そんな農村の姿を研究と教育を通じて支援していけたらと思っています。



山口 創 准教授
【専門分野】
農村計画学／農業経営学

専門分野は農村計画学、ナレッジマネジメント、農業経営学。主な研究テーマは、農業におけるナレッジマネジメント理論の構築に関する研究、在来品種の特産化手法に関する研究、農村地域における人材育成に関する研究など。「日本の農業・農村は高齢化が進んで限界集落で大変だ、とよく言われます。しかし言っているだけでは何も進みません。研究者としては、少しでも自分で解決する手立てを考えてみようというところ

が大事だと考えています」



山口准教授の話を
動画で観よう！

例えば こんな授業

▼ 人間環境概論

▼ 環境と文明

▼ 人間居住論

▼ グリーンデザイン

▼ 都市の自然環境形成

▼ 農村の持続的発展

▼ 自然環境と文化

▼ 住まいと建築の歴史

▼ 歴史遺産保全論

▼ 居住インテリア計画

▼ エコハウス計画

▼ 福祉住環境計画

▼ 都市居住計画

▼ 木質構造計画

例えば こんなゼミ

建築ユニバーサルデザインなどについて学び、
「住み続けることができる環境」を模索します。



老田 智美 准教授

「多様性を受容する都市・建築空間の提案」を目的とした研究」をメインテーマとし、「公共施設や観光地のユニバーサルデザイン化」や「多様性に配慮した居場所の創出」

について研究しています。またゼミでは、週1回パワーポイントによる発表・質疑応答を行い、他にもゼミ生合同調査、外部の勉強会への参加など、それらの経験を通して学生自身の興味のあるテーマを育て、主体性を身につけます。

卒業生 VOICE



池田 美稀菜 さん 1年生
兵庫県出身
環境学部

講義やサークル内でのディスカッションでは新しい考え方を得ることもあり、とても刺激的です。また専門的な知識や特技、趣味を持っていたりなど多様な学生が在籍している為、日々の生活の中でも勉強になる事が多いと感じます!!





理科の教員になるために必要な指導法をはじめ、教員に求められる幅広い知識が学べます。

中学・高校の「理科」の教員をめざす学生に向けた課程です。
物理、化学、生物、地学の知識を養い、実験や実習の力もしっかりと身につけた教員を養成します。同じ目標に向かう仲間と情報交換し、切磋琢磨しながら夢に向かって成長していきましょう。



学びの
POINT



生徒とのふれあいが好きで理科教育に熱意をもつ学生に最適な課程です。



教える土台となる物理、化学、生物、地学の基礎・応用をしっかり学びます。



創造力が豊かで実験や実習のできる教員をめざします。

取得目標
Certification

中学・高校教諭一種免許状(理科)



浅和 滯 さん 1年生
兵庫県出身
環境学部

私は、入学前は英語が大変苦手でしたが、週4回ある英語の少人数講義と、英語村に通うことで苦手意識が小さくなりました。また、英語の講義とは別にリメディアルの英語の講義や勉強会もあり、本当にありがたいと思っています。

先輩
VOICE



教育を通して、環境問題の解決に携わりたい。

矢野 孝枝 さん 3年生
東京都出身

環境問題の解決に必要なものは何か。科学的なアプローチも重要ですが、まずは一人ひとりが環境に関して正しい知識を持ち、行動することが重要。そう考えて環境学部に入學しました。

この学部では、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境の3分野から、興味に合わせて柔軟に科目選択ができます。もちろん教職関連の科目も充実しています。特に記憶に残っているのは、理科指導法の講義で模擬授業を行ったことです。教職経験豊富な先生のアドバイスや、同級生からのフィードバックを得られ、実践力を鍛えるよい機会になりました。また教育行政学の講義では、教育の無償性や子どもの学ぶ権利について、具体的な裁判例を基にみんなで議論を重ねながら、法律や制度、教育の本質について考えを深めることができました。そしてもうひとつ、大学に入ってから力を入れているのが英語です。実は高校までは英語が苦手でした。でも思い切って「英語村」に足を運び、ネイティブスピーカーとの会話を通じて、英語でのコミュニケーションの楽しさに出会えました。

将来は大学院進学後、中高の理科教諭として環境教育に携わりたいと考えています。教職大学院、あるいは理系大学院で指導力を磨き、生徒たちに環境の大切さを伝えていきたいです。



矢野さんのコメントを
動画で観よう！



例えば
こんな授業

▼ 理科指導法1～4

▼ 教育原理

▼ 教職論

▼ 教育の制度と経営

▼ 教育心理学

▼ 教育の方法と技術

▼ 特別支援教育の理論と実践

▼ 教育課程論

▼ 環境教育論

▼ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法

▼ 生徒・進路指導論

▼ 教育実習(中・高)

▼ 教職実践演習(中・高)



卒業生
VOICE



環境学と教職課程の両立をめざした大学生生活は厳しいながら充実した4年間でした。

能登谷 悠生 さん 北海道出身 2021年3月卒業

勤務先:北海道標津町立標津中学校(北海道教育委員会)

動物行動学で有名な小林先生(小林 朋道学長)の存在もあって入学しました。元々教員をめざしたい気持ちがありましたが、教育系の大学より興味ある専門の研究もしながら教職も取れる大学に魅力を感じました。ただ、専門の研究と教職の学びを同時並行で行うのは大変厳しかったことを覚えています。この厳しい状況下で一緒に教職をめざした仲間は今でも仲がよく、連絡を取り合っている時は相談などもできる存在になっています。現在は地元北海道の中学で理科の教員をし、3年生の担任を受け持っています。大学では心理学のゼミに所属し、環境と子どもの成長を研究テーマにしていました。ピクトブなどで遊びながら自然環境に対する意識をもたせるような活動をする中で、子どもたちと心の通じ合う会話が自然とできるようになり、環境に関する専門知識を授業に生かしているのも大学の学びのおかげだと思います。これからも子どもたちがより広い視野で世界を見れるような教育ができて、子どもたちの記憶に残る先生をめざして頑張ります。



中原 伊織 さん 1年生
岡山県出身
環境学部

英語のクラスやチューターなど少人数で活動することが多いので必然的に仲良くなれます。また、1年生前期にある地理学入門という授業では、毎授業違ったテーマでグループを組みディスカッションをするので毎回違う人と仲良くなれます。経営学部も受けられる授業なので他学部の人とも交流できます。



教育プログラム Curriculum



年次	1年次	2年次	3年次	4年次
	学びに出会う	学びを広げる	学びを深める	学びを究める
人間形成科目	【総合教育科目】 ○現代と人権 ○鳥取学 ○スポーツ実技 ○数理基礎 ○特別講義A～C ○地理学入門 ○環境学概論 ○現代経済学入門 ○日本国憲法 ○現代社会と健康 ○文章作成1・2 ○特別講義B ○SDGs基礎 ○経営学入門 ○統計学入門	【総合教育科目】 ○特別講義B ○データ構造とアルゴリズム ○計算機の基礎 ○AMD実践演習A・B ○国際関係入門 ○経済史 ○離散数学	【総合教育科目】 ○麒麟の知 ○画像処理 ○パターン認識 ○AI ○AI実践演習	
	【外国語科目】 ○Intensive English1～4 ○英語活動A・B ○海外英語研修A～C ○海外語学実習A・B ○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B	【外国語科目】 ○Intensive English5～8 ○中国語1・2 ○ロシア語1・2 ○Advanced English1～8 ○韓国語1・2	【外国語科目】 ○英語特別講義A～D	
	【情報処理科目】 ○情報リテラシー1・2	【キャリアデザイン科目】 ○キャリアデザインA ○基礎インターンシップ		
	【総合演習科目】 ○プロジェクト研究1・2	【総合演習科目】 ○プロジェクト研究3・4		
	●自然環境保全概論 ●循環型社会形成概論 ●人間環境概論 ○環境と文明 ○微分積分学 ○線形代数 ○化学概論1・2 ○物理学概論1・2 ○生物学概論 ○環境学フィールド演習	○人間居住論 ○環境政策論 ○環境と倫理 ○環境経済論 ○環境情報学概論 ○環境物理学 ○環境法概論 ○環境行政論	○地球観測学 ○環境データベース論 ○環境アセスメント概論	
自然環境保全系科目	○植物学概論	○化学実験 ○地学実験 ○生物学実験 ○物理学実験 ○バイオクリマ入門 ○生態学基礎 ○森林科学概論 ○水環境学 ○自然環境保全実習・演習A	○保全生物学 ○基礎土壌学 ○漁業資源保全学 ○環境土壌学 ○環境ゲノム科学 ○森林資源管理論 ○森林政策論 ○自然環境保全実習・演習B	
		○環境とエネルギー ○廃棄物マネジメント学 ○応用化学概論 ○3R工学 ○水環境工学1・2 ○応用微生物学概論 ○循環型社会形成実習・演習A	○大気汚染防止 ○地域エネルギーシステム論 ○廃棄物処理技術 ○水処理技術 ○バイオマス変換論 ○有機資源利用学 ○循環型社会形成実習・演習B	
人間環境系科目		○グリーンデザイン ○自然環境と文化 ○住まいと建築の歴史 ○居住インテリア計画 ○都市居住計画 ○人間環境実習・演習A	○都市の自然環境形成 ○エコハウス計画 ○景観計画と保全管理 ○福祉住環境計画 ○都市の持続的発展 ○途上国の都市発展 ○農村の持続的発展 ○自然素材と環境 ○ジオパークと地域づくり ○木質構造計画 ○地域生活文化論 ○歴史遺産保全論 ○人間環境実習・演習B	
		○環境特別演習	○鳥取グリーンベンチャー	○卒業研究
教職課程科目		○理科指導法1・2 ○教育原理 ○特別支援教育の理論と実践 ○教職論 ○教育課程論 ○教育心理学 ○教育の方法と技術（ICT活用を含む）	○理科指導法3・4 ○教育の制度と経営 ○教育行政学 ○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ○道徳教育の理論と指導法 ○生徒・進路指導論 ○教育相談 ○環境教育論	○教育実習事前事後指導 ○教育実習（中） ○教育実習（高） ○教職実践演習（中・高）

上記の科目は、2025年4月のものです。変更になる場合があります。◎必修 ●選択必修 ○選択・自由

卒業後の進路 Future



2024年度卒業生の実績

※業種別50音順

農業、林業

株式会社サラダコスモ

建設業

株式会社石勝エクステリア

株式会社伊東造園

株式会社ウッズカンパニー

株式会社タイキ

株式会社西原環境

住友林業ホームテック株式会社

住友林業緑化株式会社

セキスイハイム中四国株式会社

日本防蝕工業株式会社

製造業

石原ケミカル

岩谷瓦斯株式会社

金子産業株式会社

株式会社あわしま堂

株式会社ウィードプランニング

株式会社田中衛機工業所

株式会社九十九島グループ

株式会社ボックス

加茂繊維株式会社

三和エンジニアリング株式会社

ジャトコ株式会社

中川製袋化工株式会社

日清銅業株式会社

三ツ星ベルト株式会社

有限会社ひよこカンパニー（大江ノ郷自然牧場グループ）

由良ドック株式会社

電気・ガス・熱供給・水道業

N T Tアノードエナジー株式会社

情報通信業

エクシードシステム株式会社

株式会社イタミアート

株式会社クレスコ・デジタルテクノロジーズ

株式会社スーパーソフトウェア

株式会社鳥取県情報センター

株式会社日本ビジネス開発

紀陽情報システム株式会社

日本ソフトウェア株式会社

パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社

東日本電信電話株式会社

運輸業、郵便業

平成農産運輸株式会社

卸売業、小売業

イオンリテール株式会社

株式会社エディオン

株式会社オートバックス関西販売

株式会社辻森商会

株式会社中市大福堂ダンマルシェ

株式会社西原商会

株式会社ニトリ

株式会社バンテック

株式会社ひこベットフレンドリー

株式会社ボーネルンド

株式会社リビングハウス

かわさき屋株式会社

河村電器産業株式会社

生活協同組合コープこうべ

大ーガス株式会社

ダイキンHVACソリューション中四国株式会社

テス・エンジニアリング株式会社

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社

ホンダ山陰中央株式会社

ホンダ泉州販売株式会社

矢崎総業株式会社

UTCコーヒープロフェッショナル株式会社

レックス株式会社

金融業、保険業

株式会社鳥取銀行

株式会社みなと銀行

鳥取信用金庫

米子信用金庫

不動産業、物品賃貸業

株式会社カチタス

太陽建機レンタル株式会社

学術研究、専門・技術サービス業

アジア航測株式会社

一般社団法人静岡県産業環境センター

MHIパワーエンジニアリング株式会社

応用技術株式会社

株式会社エス・ビー・シー

国際航業株式会社

国立研究開発法人水産研究・教育機構

シンワ技研コンサルタント株式会社

東洋技研コンサルタント株式会社

服部エンジニア株式会社

宿泊業、飲食サービス業

株式会社三井不動産ホテルマネジメント

教育、学習支援業

愛媛県教育委員会

株式会社アワーズ

株式会社トライグループ

鳥取県教育委員会

長崎県教育委員会

ヒューマンアカデミー株式会社

三重県教育委員会

医療、福祉

鳥取市社会福祉協議会

複合サービス事業

京都市農業協同組合

サービス業

伊予鉄総合企画株式会社

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社

E v a n d株式会社

株式会社アウトソーシングテクノロジ

株式会社インテックスホールディングス

株式会社エコ・プラン

株式会社クリタス

株式会社D Y Mキャリア

公益財団法人日本野鳥の会

大栄環境株式会社

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

日本空調サービス株式会社

パーソルプロセス&テクノロジー株式会社

マンパワーグループ株式会社

L i f e f i x 合同会社

公務

大阪府

大阪府警察

大村市

神戸市

国土交通省 近畿地方整備局

桜井市

茅野市

徳島県

鳥取県

鳥取市

兵庫県警察

松山市

林野庁

大学院進学

九州大学大学院

公立鳥取環境大学大学院

信州大学大学院・ロレーニャ大学大学院（ダブルディグリー）

東京農工大学大学院



多様な生物が暮らす森林。そのかけがえのない価値を伝えたい

青山 洸大 さん 4年生 北海道出身

林野庁 内定

講義やフィールドワークを通して、森林の保全を進めていくことの大切さを実感しました。林野庁への就職も、その延長線上にあります。ゼミでの研究テーマは「大径材」。いわば成長しすぎた樹木をいかに活用するかは、林野庁にとっても重要課題のひとつです。また就職面接で、中高生と森の中を歩き、木の特徴や森林の大切さを伝える森林教育活動に取り組んだ経験を話したことも、採用につながるアピールポイントになったようです。入庁後は故郷の北海道森林管理局への配属を希望していますが、鳥取を管轄する中国森林管理局でも、本庁での企画広報的な仕事でも大歓迎。森林の大切さを一人でも多くの人に伝えたいです。



中島 朋香 さん 1年生
東京都出身
環境学部

本学のまちなかキャンパスで老若男女問わず交流する機会があり、多角的観点から物事を捉えて自分の視野を広げることができます。また、鳥取しゃんしゃん祭りや砂丘清掃などに参加することで文化継承や地域活性、環境保全等の地域貢献をすることで心身の成長を実感します。



工藤 花心 さん 1年生
和歌山県出身
環境学部

この大学は県外から来た人が多く、みんな一人暮らしなので助け合い、仲良くなりやすいと思います！



教員一覧 Faculty members

特別サイト
さらに詳しい内容を
紹介しています。



チョン ホンシャン
張 漢賢 教授
都市計画学
人間居住論

環境学部長

先進国、途上国の都市居住問題・住環境整備について学び、徒歩で生活できるコンパクトシティの原型、職住一体を可能にする空間を持つショッパハウス街区などを通して、長く使い続けられる都市生活空間の形成、仕組み、継承を研究します。



モンギ ヒデユキ
門木 秀幸 准教授
環境分析
廃棄物・リサイクル工学

副学部長

廃棄物のリサイクルを研究しています。廃棄物には環境へのリスクだけでなく、様々な資源が眠っています。リサイクルの研究は宝探しのようです。探し出して利用する、そのための技術や方法を一緒に考えていきましょう。



アラタ テツジ
荒田 鉄二 教授
環境哲学
文明論
持続性論

人間形成教育センター 副センター長

持続性問題という文明の危機を克服するには、危機の状況を正しく診断すること、その根本原因を明らかにすること、そして危機の状況と根本原因を踏まえたうえで解決策を探ることが必要です。共に学び、説得力のある解決策を提案していきましょう。



ネモト アキヒコ
根本 昌彦 教授
森林資源管理学

副学長

アドミッションセンター長

私の関心は森林空間が持つ多様な役割を認識した上で、森林を持続可能な形で利用するための方策を示すことにあります。学生には問題を環境学生態学的に把握すると同時に、経済学や社会科学政策科学的な面からアプローチすることを期待しています。



ヨシナガ イクオ
吉永 郁生 教授
海洋微生物学
微生物生態学

地域イノベーション研究センター長

人間形成教育センター 副センター長

海の生態系は地球環境に大きな影響を及ぼしています。そして海の生態系は、植物プランクトンなどの微生物が主役です。陸地に住む我々にはなじみが薄い海からの視点、そして微生物の視点から、これからの地球環境を考えてみませんか。



カサギ テツヤ
笠木 哲也 教授
植物生態学
送粉生態学

陸上植物の7割は送粉(花粉媒介)を昆虫に依存しています。そこで、送粉昆虫の種類や行動に着目しながら、植物の生態的特异性や交配システム進化について研究を進めています。まずは野外に出て、植物や昆虫の種名を覚えることから始めましょう。



ナカジ ヒロユキ
中治 弘行 教授
建築構造
耐震構造
木質構造

日本には、古くから身近な材料として木材など自然にある素材を活用して、居住環境や生活に必要なものを贈ってきたという歴史があります。建物を構成する材料の木と土、それに必要な大工・左官技術、構造物の耐震安全性に関する研究を行っています。



キム サンヨル
金 相烈 教授
廃棄物工学

サステナビリティ研究所 所長

近年は資源やごみの埋立地の枯渇問題、環境汚染の問題などが深刻となり、大量生産、大量消費、大量廃棄型社会から循環型社会への転換が緊急の課題となっています。これらの問題をじっくり考え、解決策をともに考えてみませんか。



マツイ トオル
松井 徹 准教授
再生可能エネルギー
バイオマスエネルギー変換

太陽光発電やバイオマスエネルギーなど、再生可能エネルギーの世界に20年以上関わっています。最近、脱炭素という言葉をよく耳にしますが、実現にはまだまだ課題が沢山あります。脱炭素社会に向け、再生可能エネルギーを広めるために一緒に考えてみませんか。



オイダ トモミ
老田 智美 准教授
建築計画
福祉のまちづくり
建築ユニバーサルデザイン

人生100年時代の今、仮に病気や事故でからだが不自由になっても、仕事をし、余暇を楽しむ「かわらない生活」を送ること、そしてそれを可能にする「住み続けることができる環境」が必要です。家族のこと、未来の自分のことを想像しながら一緒に研究しませんか。



カウ サダヒサ
加藤 禎久 准教授
緑地計画学
エコロジカル・プランニング
グリーンインフラ

洪水や土砂崩れなどの被害を抑え、レジリエントな社会を構築するには、従来の土木インフラを補完する形で自然の恵みを生かしたグリーンインフラの活用が求められています。一緒に気候変動に適応した緑地・ランドスケープ計画を考えたいませんか。



オオタ タロウ
太田 太郎 准教授
水産資源生物学
漁業制度
地域連携

副学長補佐

豊かな鳥取の自然の中で沢山の経験を積みながら、楽しく学んでいきましょう。私は海や川をフィールドとした研究をしています。解らないことが山積み。新発見の喜びを分かちあいましょ。



ヤマモト アツシ
山本 敦史 准教授
環境化学
分析化学

皆さん「健全な物質循環」という言葉を耳にしたことがありますか?環境分野において近年重視されているキーワードです。一緒に環境や暮らしの中で起こっている様々な物質の動きを調べてみませんか。普段の景色が違って見えてくるでしょう。



タカリ タクト
戸茆 丈仁 准教授
水処理 汚泥処理
水質保全 下水道工学

皆さんの家のトイレ、キッチン、お風呂などからの生活排水は、下水処理場、浄化槽などの処理施設で処理され、一定の水質を確保した上で、公共用水域に排出されます。水質保全、水処理、汚泥処理の仕組みについて一緒に学びましょう。



コハラ カスヒロ
柚洞 一央 准教授
地理学 ジオパーク
ジオツーリズム
地域づくり

「普通」ってなんでしょう。場所が変われば、「普通」も変わります。場所の比較から、地球の気持、人の気持ちを考えたいです。プラタモリのように、地域を描く力を身につけませんか?



サトウ シン
佐藤 伸 准教授
バイオマス変換学
応用微生物学

微生物は私たちの身近にたくさんいます。そのチカラを利用して未利用資源を有益なものに変換する研究に取り組んでいます。最近、ゴムを分解するキノコを鳥取で見つけました。このキノコの力が廃ゴムの再資源化に役立つのではないかと期待されています。微生物のチカラを生かして新しいモノを生み出す研究に、一緒に取り組んでみませんか?



カド アツホ
角野 貴信 准教授
土壌学
生態系生態学
生物地球化学

土壌がその母材である岩石などから生成するスピードに比べ、人が利用して劣化させてしまう速度があまりにも速く、そのアンバランスが問題になっています。いかにすればそのバランスを回復し、維持し続けられるのか、一緒に考えてみませんか。



サガワ タツユキ
佐川 龍之 准教授
リモートセンシング
人工知能
画像処理

今は多くの情報が溢れていますが、その中から重要な情報だけを選び出すのは簡単ではありません。大学で様々な教養や情報を分析するための基礎知識を学び、自分が本当に必要とする情報を集める力を身につけましょう。



トクダ ユウキ
徳田 悠希 准教授
古生物学
深海生物学

現在の地球環境の成り立ちを理解し、未来の環境を予測するためには、過去を知る必要があります。私は化石や地層を調べることで、大地に刻まれた地球の歴史を読み解いています。一緒に地球環境の過去と未来を考えてみませんか。



ヤマグチ ソウ
山口 創 准教授
農村計画学
農業経営学

私の専門は農村計画学で、農村が抱える課題の解決や持続的発展の方策について社会科学的視点から研究しています。現在の農村には、解決すべき課題が山ほどあります。一緒に20年後、30年後の農村をデザインしましょう。



タニグチ ハルカ
谷口 晴香 講師
霊長類学
動物行動学
生態人類学

人と野生動物の共存を実現するためには、まずは動物たちのことをよく知る必要があります。座学だけでなくフィールドにて生態系の構造や野生動物の生態・行動を学び、そして彼らと共存していく道を共に模索しましょう。

教職課程 Teacher training course



マエタ テツオ
前田 哲雄 特任教授
道徳教育
学校経営

教職は子どもと俱(とも)に学び俱に進むやりがいのあるものです。本学においても、中学・高校(理科)の教員免許が取得できます。環境の世紀と言われる今、本学で学びそれを学校教育で生かしてみませんか。



フジタ エツコ
藤田 恵津子 教授
臨床心理学
発達心理学

カウンセリングにおいて、語りのプロセスがこころの回復に寄与することを研究しています。また、「こころ」の健康に関する心理教育は、カウンセリングと同様に大切なことであり、現在、学校園や社会人向けの研修などで取り組んでいます。



チヨニシオ ユウジ
千代西尾 祐司 教授
学習指導
ICT活用による教材開発

「学び」というものの考え方が変わってきています。「教え・教えられる」という姿から「学ばせ・学ぶ」という、学ぶ人が主体となる学びを作るために多様な知見を学びます。ICT端末も学びの道具として使い、より良い学びを作るために、いろいろな方法を一緒に考えましょう。



カワグチ ユミコ
川口 有美子 准教授
学校経営学
教育行政学

教育原理や教育の制度と経営、教育行政学などの科目を開講しています。授業では、教育という社会的な営みについてマクロからミクロな視点まで、様々な角度から迫り、「教育学」の探究を試みます。



岸本 未来 さん 3年生
鳥取県出身
環境学部

環境大学に来る前は自分の地元に対する興味、理解があまりなく、ただ漠然と生活していました。しかし、本学には鳥取県をはじめとする近隣の地に対する魅力的な学問が多く、地域の活動にも積極的に参加でき、地元が大好きになりました。

中村 瑠 さん 1年生
香川県出身
環境学部

高校時代のような固定的な勉強から解放されるため、自分が興味ある分野や研究、自己探求に没頭することができるようになります。

経営学部 経営学科

Faculty of Business Administration

持続可能な成長のための経営戦略を学ぶ。

多様なビジネス社会で活躍するための原動力、マネジメント能力を養います。

人材・組織をはじめ自分自身の行動にも関わるマネジメント能力。
本学部では多様なビジネス社会で活躍するために必要なマネジメント基礎力を養うとともに企業、地域、国際、情報の視点から経営学を修得します。
少子高齢化の問題など、10年後の日本の課題が顕著化している鳥取県を学びの舞台として、地域課題の解決に挑戦しながら、これからの日本や世界のビジネス社会で求められる提案力や実行力を養成。
さらに、将来的に地域の企業や団体等の経営や運営をリードできる人材の輩出をめざし、会計、ファイナンス、地域経営の分野について一層の充実をはかっています。

企業経営に関わる
思考力・判断力を
身につけたい

経営課題の解決に
金融の知識を
生かしたい

人が交流できる
仕組みを考え
地域を活性化したい

コンピュータ・
AI・データサイエンスを
体系的に学びたい

経営と環境の2つの視点

環境について配慮した活動が企業に求められています。経営学部には在籍しながら「環境」の視点からも学べることは、将来企業などで活動するうえで、大きな力となります。

● 企業経営分野

● 会計・ファイナンス分野

● 地域経営分野

● 経営情報分野

01 経営全般を理解し、マネジメント基礎力を養成します。

02 会計や金融・ファイナンスに関する専門性と実務能力を養います。

03 地域を舞台に日本の課題を知り、解決に取り組みます。

04 企業戦略への情報技術の生かし方を実践的に学べます。

経営学部
学びの
特徴



グローバルスタンダードな ビジネスツール、英語力のスキル向上

市場を世界まで広げる時、何ができるか、何をやるべきかを考えられるよう、英語スキルの向上にも取り組んでいます。



産学協働による活動で現場を知る

経営の知識は将来、幅広く生かすことができるため、興味を広げる機会を多く設けます。経営者の講演会をはじめ、企業と連携して課題解決に当たるなど、現場に触れるなかで成長することができます。



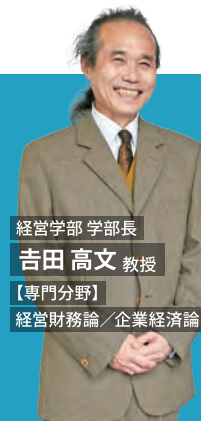
国内外での実践的なフィールドワーク

鳥取県内を中心に学生が企業経営者や地域の方と関わります。また、学びのフィールドは国外にも広がり、世界的な企業、環境に配慮した事業に取り組む企業を訪問し、ビジネスの最前線を体験します。



情報を活用するコンピュータスキル

企業が生き残っていくために情報は欠かせない要素です。そのため、プログラミングやシステムなどのコンピュータスキルについても実践的に学修します。



経営学部 学部長
吉田 高文 教授
【専門分野】
経営財務論／企業経済論



経営学部 副学部長
竹内 由佳 准教授
【専門分野】
マーケティング／
消費者行動／流通

学修の幅と奥行きを広げ、専門性を備えたスペシャリストに。

経営学部ではすべての学生に、「個別で最適な学び」を提供したいと考えています。経営、経済、マネジメントファイナンスなどの基本的な知識は、皆さんが社会で活躍する上で必須の素養です。税や保険・年金についてもぜひ関心を持ち、学んでください。さらに、副専攻「英語実践」「AI・数理・データサイエンス」より、それぞれの関心に合わせて科目を選択し、専門性を備えたジェネラリストをめざしてほしいと思います。将来、皆さんが取り組む課題には、1人で解決できるものもあれば、誰かに頼らなければいけないものもあります。コンパクトな県のコンパクトな大学という「地の利」を生かし、地域社会や自治体と連携し、時には協力を得ながら課題解決のプロセスを経験することで、俯瞰的な視点もぜひ、身につけてください。

吉田 高文 教授

模擬授業動画を
公開しています。



勝部 詩温 さん 1年生
鳥根県出身
経営学部

本学は鳥取市の南側にあります。中心部からは少し離れていますが、駅から大学までのバスを無料で使うことができます。田舎なので本数は少ないですが、授業終わりにはバスがちゃんとあるので大丈夫です。休日には、鳥取県東部地区の日本交通のバスが全線無料なので大体のところに無料で行くことができます。



野口 貴生 さん 1年生
岡山県出身
経営学部

サークル活動だけでなく講義でも先輩と関わる人が多いので不安なことがあっても聞きやすい！
分け隔てなく接してくれる先輩がほとんどなので縦のつながりが創りやすい。



企業経営



うそつきとうふとは ▶ <https://www.kankyo-u.ac.jp/tuesreport/2023nendo/1214/>

経営管理や経営戦略などの基礎に加え、 起業などに必要な知識を学べます。

経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えた
グローバル時代に対応する能力の修得をめざします。
主に一般企業や団体の企画・管理・営業などに必要な基礎力を養成します。

学びの POINT

社会で活躍するため
に経営管理、戦略や組
織の基礎を学びます。

起業、事業継承に必
要な知識を身につけ
ます。

様々な経済活動の仕
組みや法律などを学
びます。

取得目標 Certification

中小企業診断士 宅地建物取引士
ファイナンシャルプランナー 簿記検定

先輩 VOICE



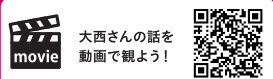
興味があった分野を実践的授業でより深く学びました。

大西 あむる さん 4年生
鳥取県出身

磯野先生のゼミに所属し、3年次には鳥取県の野菜を使った料理のレシピ本を作成しました。メンバーはゼミ生のうちの6名。野菜の直売店での野菜のピックアップから、その野菜を使ったアイデア料理の考案・調理もメンバーが分担して行い、ページのイラストやデザインレイアウトなど制作作業にも携わりました。私はこのレシピ本作成のリーダーとして、表紙も含め本全体のデザインのディレクションも担当しました。元々興味があったデザインについて学べ、併せてマーケティングやブランディング、商品開発などの知識も習得でき、とても有意義な4年間になりました。



制作に携わったレシピ本



Research Works 研究紹介

逆境の中で創造性を発揮する。

どんなに調べてデータを集め分析しても、それをもとにして新しいアイデアを出さなければ、結局何も起こりません。世の中は、人の新しいアイデアによって突き動かされています。

人はいかにしてより、優れたアイデアを出せるのか。人がアイデアを出す力や過程は、「創造性」という考え方で捉えられます。創造性は非常に淡くて、もろく、つかみがないものです。創造性は本来誰にもあるはずのものです。そのようにあまりにももろいために、その創造性が顕著に現れる人は限られているようです。しかしある程度の工夫があれば、誰もが優れた創造性を発揮できるはずです。

いかにそのように淡くてもろい創造性を人から引き出すか。これまでの創造性研究によっていくつかの工夫が見出されてきました。例えばあえて全く関係なさそうなものをヒントにして考えてみる。こと。(その逆の、すでにある似たものをヒントにすること(前例主義)はモノマネであり創造性につながりません。)あくまでも一人で考え抜くこと。(その逆の、皆で考える会議や話し合いなども実は創造性を殺すことで知られています。)その一方で、やる気にさせるようなリーダーにつくこと。(やる気を削ぐようなリーダーや管理職たちは創造性にとって最悪です。)(前例主義、会議、やる気を削ぐ管理職たちは残念ながら、多くの組織が抱えている問題です。)

今は、創造性にとっての「やる気」について、関心を持って研究をしています。特に、創造性をむしろ殺すような組織の中でいかに、私たち一個人はそれでも、やる気を保ち、自身の創造性を引き出すことができるのか。そして優れたアイデアを出せるのか。チャレンジングな研究テーマですが、ここから見出された答えは、そのような組織のもとで働く私たちが勇気づけるものになると思っています。



磯野 誠 教授

【専門分野】
マーケティング／新製品開発／
ブランド／デザイン

専門は、マーケティング、新製品・サービス開発、デザイン。主な著書は、「アイデアをもたす思考」(ナカニシヤ出版)、「新製品コンセプト開発におけるデザインの役割」(丸善出版)、「アイデアの意図と魅力」(ふくろう出版)など。自治体や民間企業向けマーケティング研修講師、コンサルティング実績多数。学部教育では「考えること」「創ること」の両方のできる人物像の実現をめざす。



例えば こんな授業

▼ 経営学入門

▼ 経営戦略論 1・2

▼ 経営組織論 1・2

▼ マーケティング 1・2

▼ 人的資源管理論

▼ 商品開発論

▼ ブランド論

▼ 事業創造論

▼ 経営倫理

▼ ビジネス・エコノミクス

例えば こんなゼミ

経営戦略を実際に使えることを意識し、
より実践的な視点で本質を学びます。



光山 博敏 教授

「各企業が持っている強みや技術を如何に利益に結び付け、持続的な競争優位につなげていくか」をメインテーマに研究を進め、学びを机上の空論に終わらせるのではなく、「使える経営戦略」の習得をめざします。また、経営戦略はもとより「経営学」に関する幅広い領域を視野に入れ、研究を進めていきます。ゼミでは実際に競争力を発揮している国内外の企業への聞き取り調査などを通し、イノベーションについての理解を深めます。

「使える経営戦略」の習得をめざします。また、経営戦略はもとより「経営学」に関する幅広い領域を視野に入れ、研究を進めていきます。ゼミでは実際に競争力を発揮している国内外の企業への聞き取り調査などを通し、イノベーションについての理解を深めます。

卒業生 VOICE



マーケティングや商品開発など、こんな高度な内容を学んでいたのかと今更ながら思っています。

森下 雄介 さん 大阪府出身 2023年3月卒業
勤務先: アクシス株式会社 (AXIS inc.)

自分のやりたいことを形にできる経営者になりたいという気持ちから経営学部を選びました。企業出身の磯野教授の研究室に所属し、地域振興のためのコンセプト設計について取り組みました。具体的には観光協会と協力して智頭町のイベントを盛り上げるための様々な企画提案を行いました。卒業後は、人々のキャリア支援事業を展開する人材会社へ就職。人材紹介やキャリアコーチングを行う企業への就職は「企業ではなく、あくまで個人に向き合い若者を支えたい」という社長の姿勢に共感して決めました。現在

は『マジキャリア』というサービスで、主に20〜30代の方に向けて納得できるキャリアチェンジや仕事選びのためのコーチングを担当しています。この仕事と別に、個人でオンラインでのパーボールスクールを立ち上げています。今後コンサルティングの仕事の請負などを含め、26才になるまでに独立し、経営者になりたいという子どもの頃からの夢のスタートラインに立ちたいと思っています。



伊藤 愛莉 さん 1年生
鳥根県出身
経営学部

プロジェクト研究では、学生が実践的な学びを通じて様々な課題に取り組むことができます。各テーマから課題を見つけ、解決に向けたプロジェクトを企画・実施します。プレゼンテーションをはじめとした実践的なスキルやチームワークを養うことができます。



榊原 航太 さん 2年生
兵庫県出身
経営学部

本学には担任のような先生がいます。困った時にアドバイスをくれ、相談に乗ってくれます。恥ずかしい話ですが、私が授業に出席せずにバイトに明け暮れていた時に正しい道を示してくれたのもその先生です。「今日の日銭より将来の安定」と言われ、今は目を覚まして、資格勉強に励んでいます。

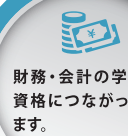




会計や金融・ファイナンスに関して 基礎から専門的な知識まで幅広く学べます。

経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、
実務に活用できる能力の修得をめざします。
一般企業や団体のほか金融機関等での業務、税理士・公認会計士といった
専門家をめざすための基礎力を養成します。

学びの
POINT



財務・会計の学びは
資格につながって
います。



税理士や公認会計士
など専門家への道も
開けます。



金融機関などへの就
職に役立つ資格取得
をめざします。

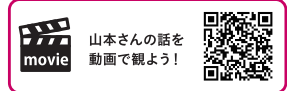
先輩
VOICE



沢山の出会いを通し、新しい知識の扉を開きながら
成長しています。

山本 楓華 さん 3年生
愛媛県出身

「経営学特別講義」という科目で、保険について詳しく学ぶことができました。保険のように、社会に出たときにきつと役立つ知識を幅広く学べるのも、経営学部の魅力のひとつですね。私が所属するゼミには、公務員など将来の進路を明確に決めて学ぶ人たちも少なくありません。私はもう少し、いろいろな分野の知識や見聞を広げながら、将来を考えたいと思っています。この大学に来て、自分が伸びたなという実感は確かにあります。大学生活全体を通して自分と向き合う時間が増えたことが、成長につながっているのかもしれません。



山本さんの話を
動画で観よう！

取得目標
Certification

公認会計士 税理士 簿記検定
ファイナンシャルプランナー



村上 莉々 さん 2年生
徳島県出身
経営学部

卒業までに簿記2級とFP2級を取得するために日々勉強しています。先生が手厚く1対1で教えてくださるため頑張れています。

Research Works 研究紹介

極めて強力なツールである「会計」への
理解を深めつつ、貨幣価値に還元できない
ものの大切さに目を留める。

20世紀初頭のアメリカでは、急速な産業化と都市化に伴い政府の役割が拡大し、財政規模も増大しました。しかし、会計制度は統一されておらず、財政状況の透明性が不足し、不正や無駄遣いが横行する問題が深刻化していました。この状況を改善するため、政府会計の改革が求められることになります。

まず、地方政府に帳簿方式が導入され、予算内で事業を行う体系が構築されていきました。さらに1921年には連邦議会で予算会計法が成立し、現代の企業でも使用されている予算制度が確立されました。私は、この予算制度が政府から一般企業へと還流していった点に着目しています。当時の企業には予算という概念がなかったにもかかわらず、政府で確立された予算制度が企業に導入されていたのです。興味深いことに、予算会計法の根底にある科学的管理法に基づくマネジメント手法は、現代では私生活にまで無意識的に影響を及ぼしています。例えば、家計の運営を企業のマネジメント手法で捉えたり、教育や子育てなどの領域でもコストとプロフィットの観点から評価したりする傾向が見られます。「タイパ」という考えも、この延長線上にあると言えるでしょう。科学的管理法は現代のマネジメント手法の原点となっています。しかし、その影響力の大きさゆえに、私たちはそれを無批判に受け入れてしまっているのではないのでしょうか。

私は学生の皆さんに、会計が単なる数値計算の技術ではなく、社会を形作る強力なツールであることを伝えたいと考えています。会計には「何もない空間に利益算定に必要な場所を作っていく」という創造的な力があることを理解しつつ、むやみやたらに会計の数値を振り回すのではなく、その数値の意味をどう受け取るか、自分なりに考える力を養ってほしいと願っています。



川崎 紘宗 准教授
【専門分野】
管理会計／予算管理／会計史

専門分野は管理会計、予算管理、政府会計、主な研究テーマは、アメリカの政府組織と一般企業の組織の管理に革新主義(効率性と経済性を追求する社会的ムーブメント)の思想が与えた影響についての考察、など。「たとえば家事やボランティアの価値をどう量るか」というと、つまるところ貨幣評価しかありません。そして貨幣評価する方法は会計しかない。人は、お金からは逃げられません。だからこそ会計について知ること
はとても大切なのです。ただし、お金で量れない価値があることも忘れてください」

川崎准教授の話を
動画で観よう！



例えば
こんな授業

- ▼ 会計学入門
- ▼ 商業簿記1・2
- ▼ 財務会計
- ▼ 管理会計
- ▼ ファイナンス入門
- ▼ 金融論
- ▼ 経営分析
- ▼ 原価計算論

- ▼ 税務会計
- ▼ 監査論
- ▼ コーポレート・ファイナンス
- ▼ リスクマネジメント
- ▼ 金融市場論
- ▼ 証券論

例えば
こんなゼミ

企業の経営事例から主要な経営事例について
理解していきます。



吉田 高文 教授
一般企業の経営事例を用いた「ケースメソッド」を中心に授業を進めます。ケース教材を読み、考え、意見を発表するという手順で、経営戦略、マーケティング、リーダーシップなどの主要な経営事例を事例に則して理解していきます。また、希望があれば、日商簿記検定試験やファイナンシャルプランニング技能検定試験などの資格試験や公務員試験を念頭に置いた小論文や経済学の学習を行っていきます。

卒業生
VOICE



公認会計士の難関試験に在学中に合格し、監査法人で勤務しています。

今峰 佐紀人 さん 京都府出身 2022年3月卒業
勤務先: 有限責任あずさ監査法人

大学入学時は経営を学んでいたが社会にでて役に立つだろうというくらいの意識で経営学部を選びましたし、公認会計士のこともよく知らない状態でした。ところが必修科目の簿記の授業が面白く、資格を取ってみようかと3級からスタート。3年次に1級に合格しました。まだまだ会計について深く勉強してみたいと思い、柳 年哉特任教授のご指導を仰ぎました。公認会計士をめざして毎日朝9時から夕方6時くらいまで先生の研究室で籠りっきりで勉強三昧の日々を過ごしました。不眠点は先生に質問しながら猛勉強の甲斐あって大学在学中に公認会計士試験に合格することができました。現在は四大監査法人(BIG4)のひとつ、あずさ監査法人の京都事務所で監査業務に取り組んでいます。

続々 後に続く快挙

公認会計士試験
現役合格！



荒木 凌 さん 4年生
太陽有限責任監査法人
大阪事務所 内定



辻 純弥 さん 1年生
島根県出身
経営学部

山の近くのキャンパスで静かですが、いろいろな友達が沢山できて楽しい大学生活を送れています。大学生活は初めは不安ばかりでしたがとてもいい友達や先生と巡りあえて毎日楽しいです。



地域経営

地域の課題を見つけて分析する力と振興策のあり方を実地で学べます。

経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得をめざします。
地域経済の中核となる一般企業や地域行政・地域団体での業務に必要な基礎力を養成します。

学びの POINT



地域の課題を発見し
分析する能力を身に
つけます。



現場に飛び出し地域
の課題や振興策づくり
を体験できます。



観光や産業など地域
資源を活用した振興
策を研究します。

取得目標 Certification

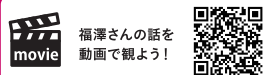
中小企業診断士 ファイナンシャルプランナー
宅地建物取引士 簿記検定 旅行業務取扱管理者

先輩 VOICE



狭い視野で地域に貢献したいと考えていた私に、大学は
広い可能性を示してくれました。 福澤 諒 さん 3年生
富山県出身

入学前は、地域に関わる仕事がしたいと強く思っていました。鳥取県は、日本一人口が少なく少子高齢化や交通インフラ問題など社会課題の先進県であるため、地域関連を学ぶには最適だと考えて入学しました。大学で学び知識を得ていくうちに「地域を助けたい＝地域の行政職に就く」と思い込んでいた考えが少しずつ変化していきました。ゼミの一環で福岡でフィールドワークを行い、福岡市や北九州市など都市部で事業活動している企業やあえて中心地から離れた場所で地域の活性化も担っている企業を訪問する中で、行政職へのこだわりがなくなり、自分の能力を生かせる企業でしっかり働くことも地域貢献につながると考えられるようになりました。



福澤さんの話を
動画で観よう！

Research Works 研究紹介

高齢化の時代、 介護サービス人材の不足をどう補うか。 経済地理学の視点から最適解を模索する。

私の専門分野である経済地理学は、経済活動が地理的な空間の中でどのように分布し、相互作用しているのかを研究する学問です。日本には約1,800の市町村がありますが、どのような経済活動も社会事象も、全国一律、同じスピードで同じような形で進むことは、ほとんどありません。そのような「地域差」に着目して、地域の現状を把握し、その地域にあった施策を考えていくことが、経済地理学の大きな役割と言ってもいいでしょう。

私が注目し長年研究を続けているのは、介護サービスを担う介護人材の現状と展望です。2000年に介護保険制度がスタートして以来、介護サービスの担い手である介護人材の確保と定着は常に、介護サービス事業の大きな課題でした。高齢化が加速するこれからは、介護サービス需要が急速に高まるにつれ、介護サービスの担い手不足もさらに深刻化するでしょう。

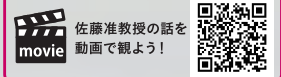
では、どのような人材を、どのような方法を用いて、どのような地域から確保することが必要なのか。その答えを求めて私は、専門資格を持つ介護福祉士や、近年急増している外国人介護職員がどのような就業特性を持っているのか、調査を続けています。一般に介護サービス人材は定着しにくいと思われていますが、調査をすると定着率は地域によってかなりバラつきがあることがわかってきました。それは介護サービス人材の需給状況が、地域の人口や産業構造などの影響を受けるためだと考えられます。ですから、地域特性にも目を配りながら研究を進める必要があります。

研究のスタートはインタビューからです。現場で話を聞いて、その地域の特性や働き手の属性による傾向の把握をめざします。一番難しいのは、インタビューに潜り着けることです。今年、ある地域を対象に外国人介護職員の調査をしようと思い、約40施設に依頼したのですが、様々な理由で断られることが多くありました。でも諦めません。それが新しい知見につながると考えていますから。



佐藤 彩子 准教授
【専門分野】
地域経済学／経済地理学

専門分野は地域経済学、経済地理学。主な研究テーマは、介護サービスの産業特性に関する研究、外国人介護職員の流入過程と就業特性に関する研究など。「若い皆さんにとっては、介護は遠い世界の話に思えるでしょう。今や日本の人的資源(働き手)の中で欠かせない役割を果たしている外国人労働者の存在も、普段の生活の中ではあまり意識に上らないかもしれませんが、でも急速に世の中は変わっています。その変化を見逃さず、自分ごととして考える姿勢を忘れてください」



佐藤准教授の話を
動画で観よう！

例えば こんな授業

- ▼ 地域経営論
- ▼ 地域経済論
- ▼ 日本経済論
- ▼ 公共経営論
- ▼ 地域政策論
- ▼ 地域産業論
- ▼ 公共政策論
- ▼ 地域マーケティング非営利組織論
- ▼ コミュニティビジネス論
- ▼ 観光経営論
- ▼ 地域振興論
- ▼ 農業経営論
- ▼ 国際経営論

例えば こんなゼミ

学外での活動も楽しみつつ、 地域社会の暮らしや仕組みを学びます。



倉持 裕彌 准教授
人口減少真っ只中の地域が大学の身近にあるという利点を生かして、中山間地域の集落で暮らす人々や街なかの商店街で商売を営む人々の日常を観察し、地域社会の

仕組みや背景などについて理解を深めます。フィールドワークを実りあるものにするために座学(文献講読など)もしっかりやります。

卒業生 VOICE



木村 恒太 さん 1年生
長崎県出身
経営学部

1人のチューターの先生に対して学生が8人程度に分かれるため、先生からの手厚い指導を受けることができます。資格を取得する際にも気軽に相談することができ、いろいろな先生に優しく接してもらうことができます。

地域経済の活性化や産業の振興について学び、念願の島根県庁に入職しました。

佐々木 基竜 さん 島根県出身 2024年3月卒業
勤務先: 島根県庁

地域の産業や経済振興について学べる経営学部は、公務員を志向していた自分にとっては最適の進学先でした。佐藤 彩子准教授の指導のもと、コロナ禍真っ只中の鳥取県の観光業におけるコロナ禍脱却をめざしました。旅館など観光スポットをフィールドワークし、課題や施策について聞き取り、こちら側のアイデアを提案したり、その内容を県内の高校にリモートで発表したりしました。卒業論文は「中山間地域の道の駅の新たなビジネスモデル」をテーマに、島根県内で賑わっている道の駅を選び、その盛況の原因を探り、その道の駅が展開しているビジネスモデルを分析紹介しました。公務員に向けての試験対策は3年次の秋頃からスタートし、学内で開講される対策講座を受講し、2次試験の面接の練習はキャリアセンターで毎日2回もお願いしました。おかげで第一志望の島根県庁に入職でき、現在は、島根県大田市の県央事務所納税課に所属しています。様々な仕事を覚えながら、将来は大学の学びを生かした観光や企業誘致などの仕事にも携わりたいと思っています。



松下 英汰 さん 1年生
京都府出身
経営学部

本学は鳥取県内出身の人だけでなく他県からの学生も多く、故郷や鳥取での暮らしなど話題が尽きません！初対面で緊張する場面も多かったけど、今は大切な友達がいっぱい出来ました！



経営学と情報技術の確かな知識と システムを社会に役立てる方法が学べます。

経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、
ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得をめざします。
一般企業や団体における情報処理系業務に関連した基礎力を養成します。

学びの
POINT

情報技術への理解と
データ分析力を養い
ます。

企業の立場から情報
システムを実際に構築
します。

情報システムを経営に
役立てる方法を学び
ます。

取得目標
Certification

基本情報技術者 ITパスポート

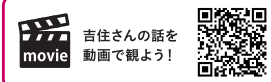
先輩
VOICE



経営情報であらゆる分野に共通するスキルを身につけ、
将来は公務員をめざします。

吉住 周 さん 3年生
鳥取県出身

志望校もなかなか決めきれずにいた私に両親が勧めてくれたのが環境大学。何となく経営や商学系に進むのかなと思っていたので、経営学部への入学を決めました。幅広い経営の学びの中ではマーケティングや企画にも興味がありましたが、調べるうちに経営情報は経営のあらゆる分野と密接につながっており、このスキルは必要不可欠なものだと考え、専門的に学びたいと思いました。ゼミは齊藤 明紀教授の研究室で、企業経営や自治体運営とIT化などに関連するテーマを今は模索中です。将来は公務員への就職を考えているので、対策講座も受講しようと思います。



Research Works 研究紹介

分散型ネットワークの技術開発で、 情報ネットワーク活用の利便性を高める。

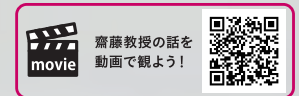
ネットワークの分散システムとは、複数のコンピュータをネットワークでつなぎ、それぞれのコンピュータが協力してひとつの仕事を担当しながら処理を行うシステムのことです。分散システムは、私たちの身の回りに溢れています。皆さんがスマートフォンをお財布代わりに使ったり、動画を見たりできるのも、分散システムがあるからこそ。分散システムは、現代のITインフラにおいて欠かせない存在となっているのです。

分散システムでは複数のコンピュータを連携させるため、システムの設計や管理が複雑になります。また、複数のコンピュータが同時に同じデータを更新する場合など、データの整合性を保つための仕組みが必要になります。私はこれまで、こうした分散システムの運用技術開発に携わってきました。たとえば、人が操作しなくてもPC端末がホストコンピュータとやり取りしてプログラム更新するシステムなど、人がより楽に、技術を意識することなく情報ネットワークを活用できる仕組み作りですね。

経営学部では、データサイエンスやAIに関心がある、学びたい、という人たちのための科目もしっかりと用意しています。もちろん中には、コンピュータや情報技術にはさほど興味が無い、という人もいます。そんな人たちにもぜひ、情報技術の核心部分は理解してほしいと願っています。将来、どんな業種・職業に就くにせよ、そこには必ず解決すべき課題があります。そして課題の解決に情報技術は必要不可欠です。「この課題の解決には、こんな情報技術、システムが使える」と判断できれば、あとは専門家に任せてもいいんです。コンピュータ(を含む情報技術)に何ができて、何ができないのかを見極める目を、ぜひ養ってほしいです。コンピュータとは「魔法の箱」ではなく、ただの機械。身構えたり敬遠したりする対象ではありません。

齊藤 明紀 教授
【専門分野】
情報工学／情報倫理／
インターネット運用技術

本学情報メディアセンター長。専門分野は情報工学。主な研究テーマは、分散システム技術運用、工学教育など。最近、取り組もうと考えているのは、学内にある情報関係のヘルプデスクの運用改善。「誰がいつ、どんな相談を寄せてきたのか分析して、有意なデータが取れないか、と、うまくいけば、学内にある情報端末の状況を把握したり、その後の予測に役立てたりできるので、と思っています」



例えば
こんな授業

▼ 統計学入門

▼ 情報システム基礎

▼ プログラミング

▼ インターネット

▼ 経営情報システム

▼ システム監査

▼ データベース

▼ データサイエンス

▼ データサイエンス実践演習

▼ 情報産業論

▼ プロジェクトマネジメント

▼ 経営工学

例えば
こんなゼミ

社会の様々な場面で活躍する情報システムを
理解し、経営学へ応用し提案する力を養います。



今井 正和 教授

最近はスマートフォンをはじめとした携帯デバイスやコンピュータシステム、情報通信の性能が向上したことにより、多量のデータを解析するデータサイエンスやその結果

を活用した人工知能技術が応用できるようになりました。組織運営においてデータサイエンスや人工知能が果たす役割は重要になってくることは間違いありません。それらを理解し、経営学への応用を考え、他者に提案していく能力を身につけることを目標としています。

卒業生
VOICE



情報系の学びに経営の知識も併せて視野を広げ、システムエンジニアとして活躍中。

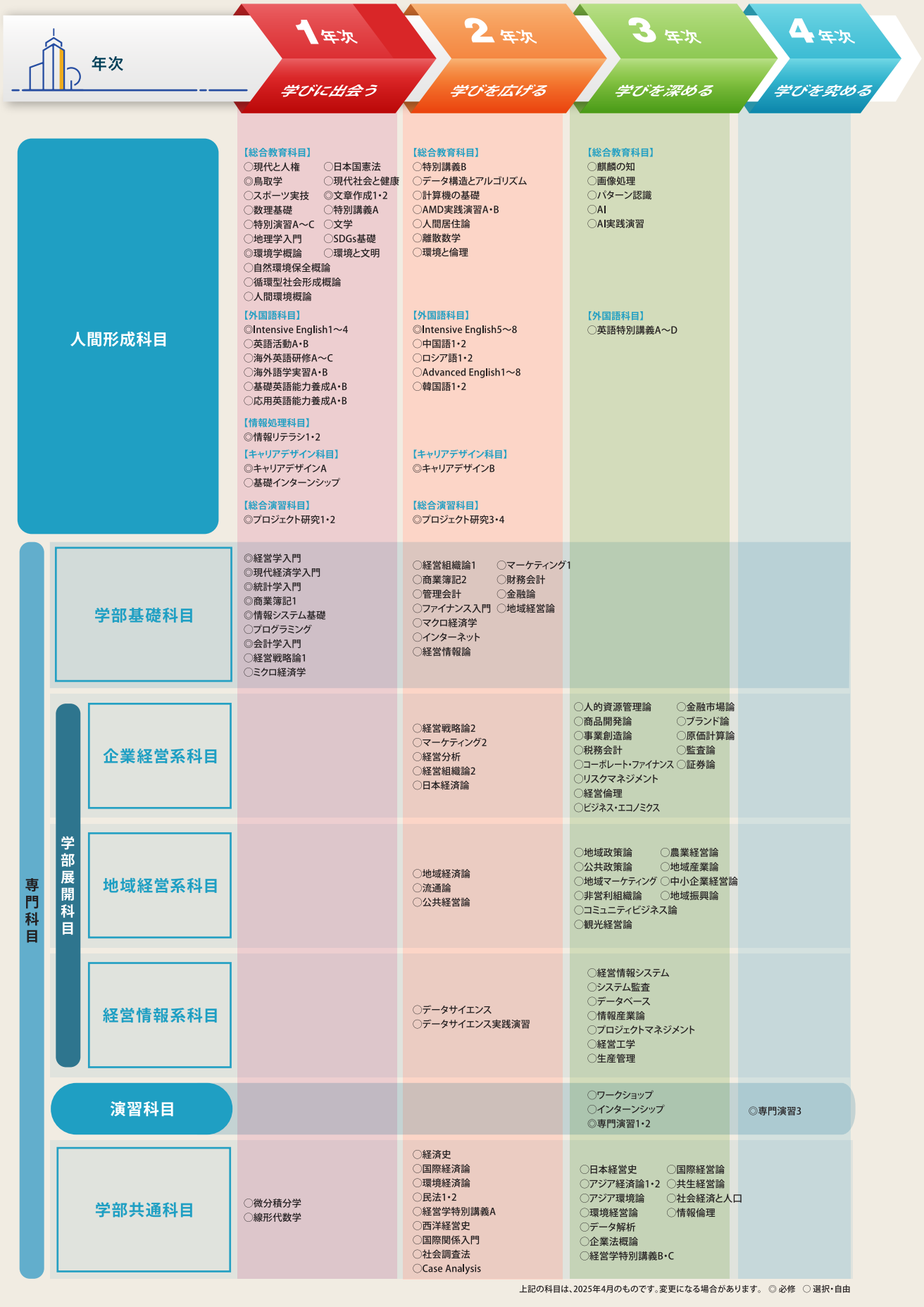
能見 健太 さん 鳥取県出身 2021年3月卒業
勤務先: リコーITソリューションズ株式会社

高校の先生から、大学進学したほうが将来の可能性が大きく広がると言われ進学を決意。高校ではプログラミングやネットワークなど情報系の基礎を学んでいたもので理系学部も勧められましたが、より視野を広げるために経営戦略やマーケティングなども学びたくて経営学部を選択しました。大学では齊藤 明紀教授のゼミに所属し、ソフトウェアの開発をし、そのソフトを使用してAmazonや楽天のレビューの分析を行いました。就職については鳥取県で働きたかったので、全国規模の企業でありながら勤務地の希望を叶えてくれるということが決め手になって選びました。システムエンジニアとして顧客のシステム開発の仕事をしていますが、ほぼリモートでの対応で商圏も全国に広がっています。また、リクルーティングの仕事にも携わっていて、インターンシップで学生対応も行っています。将来はシステムがわかり、マネジメントができるポジションに就けるようになりたいと思っています。

栗原 奈々 さん 2年生
福岡県出身
経営学部

1、2年生の時に学部ごっちゃまぜの授業があるので学部関係なく仲良くなれます！空きコマがあるときは一緒に英語村に行ったり、学生センターでおしゃべりしたりしています。

教育プログラム Curriculum



卒業後の進路 Future



2024年度卒業生の実績

※業種別50音順

建設業

株式会社一条工務店
東亜工業株式会社
東建コーポレーション株式会社
日成ビルド工業株式会社

製造業

エヌイーシール株式会社
株式会社進々堂
株式会社田中衛機工業所
株式会社ボン・リブラン
株式会社武蔵野
株式会社モリタエコノス
久商株式会社
堂本食品株式会社
日軽パネルシステム株式会社
日本食研ホールディングス株式会社
日本テクノロジーソリューション株式会社
日立造船株式会社
プリマハム株式会社
ホシザキ株式会社
ヤマハ発動機株式会社

電気・ガス・熱供給・水道業

日本BCP株式会社

情報通信業

アクセスITパートナーズ株式会社
株式会社アテック
株式会社ケイズ
株式会社システムプランニング
株式会社新日本海新聞社
株式会社ソフィア
株式会社鳥取県情報センター

株式会社日立産業制御ソリューションズ
株式会社横浜アニメーションラボ
キヤル株式会社
国際コンピューター株式会社
ソフトバンクエンジニアリング株式会社
リンク情報システム株式会社

運輸業、郵便業

WILLER TRAINS株式会社
四国旅客鉄道株式会社
下津井電鉄株式会社
流通株式会社

卸売業、小売業

荒井商事株式会社
株式会社赤尾
株式会社イノベーションオプティカルサービス
株式会社イーふらん
株式会社イボキン
株式会社E.N.E.O.Sモビリア
株式会社オオヤマ
株式会社コーゲツ
株式会社静岡制御
株式会社スズキ自販鳥取
株式会社高山
株式会社ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本
株式会社ドン・キホーテ
株式会社南陽
株式会社ネクステージ
株式会社ベンハウス
株式会社ホンダモビリティ中四国
株式会社山善
コマツカスタマーサポート株式会社
コンドーテック株式会社
シュンビン株式会社
昭和企業株式会社
谷村実業株式会社
福西電機株式会社
富士電機テクニカ株式会社

金融業、保険業

株式会社伊予銀行
株式会社沖縄海邦銀行
株式会社山陰合同銀行
株式会社島根銀行
株式会社徳島大正銀行
株式会社鳥取銀行
しまね信用金庫
但馬信用金庫
鳥取信用金庫
三井住友信託銀行株式会社

不動産業、物品賃貸業

株式会社アクティヴ
株式会社ウィルオブ・コンストラクション
株式会社エイジス
株式会社ジンジブ
株式会社W-ENDELESS
株式会社マーキュリー
株式会社ROXX
株式会社ワールドインテック
公益社団法人全日本不動産協会
千代田ビル管財株式会社
ラ・メゾン・ブランシュ

学術研究、専門・技術サービス業

株式会社アドバHRソリューションズ
株式会社荒谷建設コンサルタント
株式会社キョウエイアドインターナショナル
太陽有限責任監査法人

宿泊業、飲食サービス業

株式会社直島文化村(ベネッセハウス)
株式会社コラク
信和ホテルズ株式会社

生活関連サービス業、娯楽業

株式会社ラウンドワンジャパン

教育、学習支援業

国立大学法人名古屋工業大学

医療、福祉

株式会社麻生
公益財団法人鳥取県保健事業団
社会福祉法人徳和会特別養護老人ホームやすらぎの里

複合サービス事業

静岡市農業協同組合
全国農業協同組合連合会

サービス業

株式会社アクティヴ
株式会社ウィルオブ・コンストラクション
株式会社エイジス
株式会社ジンジブ
株式会社W-ENDELESS
株式会社マーキュリー
株式会社ROXX
株式会社ワールドインテック
公益社団法人全日本不動産協会
千代田ビル管財株式会社
ラ・メゾン・ブランシュ

公務

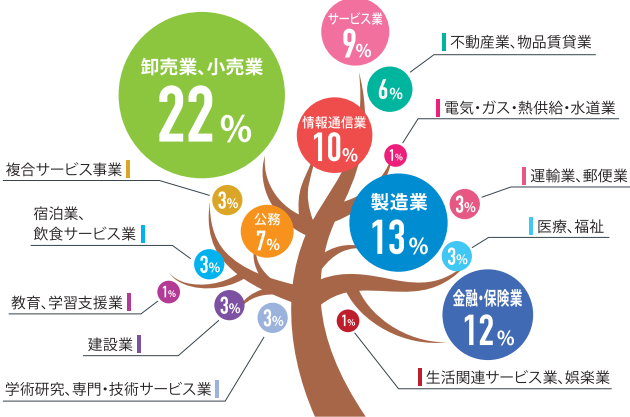
大田市
岡山県警察
京丹後市
鳥取県
鳥取市
広島県

大学院進学

神戸大学大学院

Data

業種別就職率



過去3年分の就職・進学先は、
こちらからご覧いただけます。



黒田 奏太 さん 1年生
岡山県出身
経営学部

いろんな都道府県から集まるので、自分の出身都道府県以外の人との交流もでき、とても面白いです。また、海外からの留学生もいるので異文化交流もでき、新しい発見をすることができます。個性豊かで、接しやすく、明るい人が多いので、毎日楽しく大学生活を送ることができています。



下川 裕太郎 さん 1年生
香川県出身
経営学部

友達ができるか不安だって?心配ないさ!だって大学は一步踏み出せば仲間ができる場所だから!僕は入学してすぐ、勇気を出していろんな人に話しかけました。するといつのまにか友達が新しい人を連れてきての繰り返し、たくさんの仲間ができました。部活や地域活動、様々な興味のある場所に、まず一步勇気を出して踏み出して下さい!この鳥取でかけがえのない仲間と青春を謳歌しましょう!



教員一覧 Faculty members

特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています。



ヨシダ タカフミ
吉田 高文 教授
経営財務論
企業経済論

経営学部長

経営を学ぶことによって、様々なしくみが見えてきます。会社のしくみ、生産のしくみ、販売のしくみ。また、わたくしたちの生活と企業との関わり、環境問題と企業との関わりなどの相互関係も重要です。一緒に経営学を勉強しましょう。



タケウチ ユカ
竹内 由佳 准教授
マーケティング
消費者行動
流通

副学部長

私たち消費者は、我儘で騙されやすく、熱中しやすく、そしていろいろな出来事に影響される存在です。企業にも、何が消費者にとって「流行る」「ウケる」商品のかわかりません。じゃあ、消費者って一体なんだろう？ぜひ、一緒に考えてみましょう。



フジキ ヨシオ
藤木 善夫 特任教授
経営戦略
経営情報システム

インターネットの普及による社会の変化の中に、「情報化」があります。情報化とは「情報が資源と同等の価値を有し、情報を中心として機能する社会へと変化していくこと」と定義されます。SNS、AIなど真偽さえ区別つかない情報もあります。このような氾濫する情報を正しく取捨選択できる良質な知識と知恵を身につけたい。大学で学ぶ意義がここにあると思います。



ヤギ トシヤ
柳 年哉 特任教授
会計学
財務会計
監査論（内部統制監査）

企業活動の成果は財務数値により表現されます。財務数値を作成する人・利用する人たちにとっては、会計知識は必修です。また、会計知識は、経済を深く理解することにも役立ちます。本学で会計の基礎から勉強しましょう。



サイトウ テツ
齊藤 哲 教授
経営工学
プロジェクトマネジメント

AI・数理・データサイエンス 教育研究センター長

経営工学やプロジェクトマネジメントは、社会に出るすぐに役立つ、実践的な学問領域です。講義・演習では、単に理論や方法論を学ぶだけではなく、実際に「手を動かす」演習を通して、実務に生かせる力を身につけます。皆さん、一緒に学びましょう。



ナカヤマ ジツロウ
中山 美郎 教授
民法
企業法
消費者法 他

副学長 学生支援センター長

大学は学びや研究の場であると同時にたくさんの友と出会う場でもあります。勉学や課外活動そして学友との語らいにと充実した学生生活を過ごしてください。私も皆さんの応援団として精一杯サポートします。



イノ マコト
磯野 誠 教授
マーケティング
新製品開発
ブランド デザイン

顧客がはっとする、夢中になるような製品やブランドはどのように生み出すことができるのか。マーケティングとは顧客創造ですが、具体的にはこのような問題を扱う分野です。マーケティング課題の取り組みを通して、その難しさと楽しさを共有しましょう。



イマイ マサカズ
今井 正和 教授
情報の収集と蓄積
可視化

人間形成教育センター長

皆さんの夢は何ですか？大学は自分の夢を実現するための通過点だと思えます。人生の夢を見つけるために必要な知識を身につけ、それを基にして新しい、一生の夢を大学生のうちに見つけてください。



サイトウ アキヒロ
齊藤 明紀 教授
情報工学
情報倫理
インターネット運用技術

情報メディアセンター長

コンピュータシステムの運用管理に関する研究をしています。講義はインターネット、コンピュータの基礎、情報倫理を担当しています。今やIT活用は現代の経営の重要課題です。情報システムの活用能力や目利き能力をぜひ身につけてください。



ニシムラ リコ
西村 教子 教授
人口経済学
開発経済学

国際交流センター長

日本人口の減少に伴い、社会や経済はどんどん変化していくことでしょう。皆さんはこれからどのように働き、家族を作り、生活をしていくのでしょうか。このような人々の行動を意思決定の学問である経済学を使って説明しようという研究を進めています。



イシカワ マスミ
石川 真澄 教授
公共政策
経済政策
環境経済

副学長補佐・就職支援センター長

企業活動を取り巻く経済全体の動きを読むために必要な「マクロ経済学」や現在のわが国の経済の姿と直面する課題について考える「日本経済論」などの講義を担当しています。経済と併せて学ぶことで経営学の理解も深まることでしょう。



アイカワ ヤスシ
相川 泰 教授
東アジア国際関係
民間非営利環境協力

「今ここ」を理解するのに必要な手がかりの全てが「今ここ」にあるとは限りません。全く異なる場所の、全く異なる時代に、その手がかりがあるかも知れません。日々の新たな出来事や予測も含めて、広く長い視野を持つためのお手伝いをしたいです。



タニグチ ケンジ
谷口 謙次 准教授
経営史
経済史

歴史には常にストーリーがあります。徳川家康のような個人が活躍することもあります。社会の変化や経済の発展にもストーリーがあります。社会が変わる道筋や経済発展の姿などを追っていくと、「暗記」を超えた歴史の面白さに出会えるでしょう。



ミヤザマ ヒロシ
光山 博敏 教授
技術経営
技術戦略
イノベーション戦略

ボーダーフリー（国境のない）時代を迎え、ゼロから新しい何かを創造できる人への価値が高まっています。高校時代から自分の頭で考え、何事にも能動的に取り組む姿勢を身につけてください。



ユ セイア
兪 成華 教授
経営学（人的資源管理論、国際経営論）

大学生活において学ぶことの楽しさを存分に実感してください。4年間で充実した大学生活にするために、自分の好きなことに精一杯チャレンジし、最後までやりきることが大切です。大学での学びを通じて社会人基礎力を身につけ、地域や国際を舞台に活躍できる人材になることを期待しています。



ヤマクチ カズヒロ
山口 和宏 准教授
地域振興論
農業経済学

普段、見慣れているものや、当たり前すぎて深く考えていなかったものの奥には、実は知らなかった「新しい何か」が隠れているかもしれません。その「新しい何か」に触れる楽しさをぜひ実感してください。



リエン イービン
連 宜萍 准教授
国際経済
経済発展論
多国籍企業

アジアの経済発展はどんな特徴を持っているか、日本はアジアの経済発展にどんな役割を果たしているか、産業発展を担う個々の企業はどんな戦略を取り、多国籍企業間のネットワークはどう形成されたか。アジアの経済・産業・企業について勉強します。



クラモチ ヒロキ
倉持 裕彌 准教授
地域社会学
まちづくり論

地域イノベーション 研究センター副センター長

日々の暮らしのなかで、いま私たちが人口減少に直面していることを実感します。このまま人が減り続けたらどうなるのだろうか、と心配にもなりますが、そんなときこそ学ぶとき。学問の知見を借りながらこれからの社会を考えてみましょう。



PHYU SINTHEIN さん 1年生
ミャンマー出身
経営学部

本学の先生方はとても優しく専門分野にもベテランである。授業で分からないことがあったら、ゼミ室に聞きに行けば分かるまで対応してくれる。先生方との距離が近い大学だと思う。



黒澤 虎生 さん 1年生
三重県出身
経営学部

散歩におススメ。人が少なく夜は信号も点いていないところもあってなにも気にすることなく歩き回れます。天気良くて気分がいい日も、悩みがあって気分転換したいときも、いつでも散歩日和です。私も定期的に家周辺やちょっと遠くまで散歩してます。時間がゆっくり流れているような感覚に浸れて心が軽くなるような気がするの、明日が学校じゃない日なんかは夜の散歩はとてもおすすめです。寝坊しないようにね。





大学院 環境経営研究科 修士課程



附属研究機関

「経営」の視点を持った環境学 「環境」を意識した経営学が求められています

大学院環境経営研究科では、主として
自然科学を軸とする「**環境学専攻**」と、社会科学に軸をおく「**経営学専攻**」、
そして研究科共通の「**環境経営科目群**」を配置しています。
学部での環境、経営に関する基礎的知識をもとに、
より専門性の高い知識、思考力、実践力の獲得をめざし、
環境を切り口に自然科学と社会科学が融合した授業科目を履修して、
「人と社会と自然との共生」、「持続可能な社会」の構築に向けた、実現可能な提案や、
その提案を遂行する実践的行動力を備えた高度専門職業人を育成します。

鳥取大学との協定により、本学大学院の修士課程で
学ぶ学生が、大学院連合農学研究科の博士課程に
進学し、本学教員の指導を受けることも可能です。

詳しくは
こちら



環境学専攻 修士（環境学）

環境学専攻の教育目標は、環境学だけでなく経営学の視点を持ち
ながら、持続可能な社会の構築に向けて貢献できる人材を育成す
ることです。また、地域資源の管理や保全について、現実に即した有
効で具体的な提案ができる人材育成をめざします。研究科共通科
目である「環境経営科目群」に加えて、領域の専門性を高めるために
「自然環境科目群」「資源循環科目群」「人間環境科目群」の3つの科
目群を設置しており、学生自身の問題意識、研究テーマに応じて科
目を選択します。各科目群は、地域の実際の問題に接し、その問題解
決につながる提案や活動にむすびつく内容やフィールド活動を盛り
込む講義内容となっています。また、必修科目として「特別演習」「特
別研究」を設置し、学生自身の問題意識を育てて研究のテーマ追究
を個人指導し、修士論文の作成に向けて取り組みます。

自然環境科目群	特別演習
資源循環科目群	特別研究
人間環境科目群	

環境経営科目群

進路イメージ

- ◆自治体における環境政策や環境アセスメントの担当者
- ◆企業における環境マネジメントの立案や実施担当者
- ◆地域行政におけるリサイクルシステムの設計や実施に関わる担当者
- ◆再生可能エネルギーの導入に関わるコーディネーター
- ◆環境保護や地域づくりに関わるNPO法人の職員

経営学専攻 修士（経営学）

経営学専攻の教育目標は、環境経営の視点かつ経営学の基幹的知識
を身につけたうえで、企業経営、地域経営、経営情報への応用力を形
成する教育研究を行うことです。環境経営の視点を持ちつつ、経営学
の基本的知識と分析力、仮説構築力を身につけた、環境経営マネジメ
ントを主導できる人材、高度な企業経営を主導できる人材、地域経営
や地域経済活性化に活躍できる人材、企業経営において情報基盤を
活用できる人材等の高度専門職業人を育成します。「企業経営科目
群」「地域経営科目群」「経営情報科目群」の3つの科目群、および研究
科共通科目である「環境経営科目群」を設置し、学生自身の問題意識、
研究テーマに応じて選択できるカリキュラムとなっています。また、必
修科目の「特別研究1」「特別研究2」では、学生自身の問題意識を育て
て研究のテーマ追究を個人指導し、修士論文の作成に取り組みます。

企業経営科目群	特別研究1
地域経営科目群	特別研究2
経営情報科目群	

進路イメージ

- ◆企業の経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- ◆地域の企業、官公庁における経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- ◆環境経営に携わる経営管理者、金融機関等の事業性評価担当者
- ◆企業の情報基盤活用担当者

サステナビリティ研究所、地域イノベーション研究センターでは 持続可能な社会の実現に向け、研究を進めています

サステナビリティ研究所は、グローバルな視点と個別的なローカルな問題意識をもって、
地域の独自性を生かし、地域社会の発展や活性化に貢献したいと考えています。
また、地域イノベーション研究センターは創造性に富んだ豊かな地域社会形成に取り組み中です。
研究室をはじめ、ギャラリー・ホールなどを備えており、イベントなども随時開催しています。

PICKUP

サステナビリティ研究所



研究所長

金 相烈 教授

ソウル市立大学工学部環境工学科卒業。北海道大学工学博士学位取得。オーストラリアウィーン工科大学客員研究員、北海道大学大学院工学研究科学術研究員・博士研究員・特任助教を経て、2013年4月より鳥取環境大学環境学部環境学科講師。2015年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授、2016年4月より大学院環境経営研究科環境学専攻准教授。2021年10月より環境学部環境学科／大学院環境経営研究科環境学専攻教授。2025年4月よりサステナビリティ研究所長。

特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています



持続可能な社会構築に向けた共同事業、諸研究を展開

私たちの社会は、資源の大量消費や環境汚染といった課題に直面しており、持続可能な社会の実現が求められています。持続可能な社会は、「循環型社会」「低炭素社会」「自然共生社会」の三つが統合されたものとされ、これらをバランスよく推進していくことが重要です。

そのためには、資源の有効利用とリサイクルの推進、再生可能エネルギーの導入拡大、生態系の保全を進めることが不可欠です。これらの取り組みは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の理念とも一致しており、地域社会と連携しながら具体的な形にしていくことが求められています。

サステナビリティ研究所では、地域の課題解決に貢献しながら、グローバルな視点を持って研究・教育活動を展開していきます。学生とも積極的に協力し、実践的な学びの場を提供するとともに、次世代を担う人材の育成にも力を注いでまいります。

研究活動例

- ・持続可能性の維持・確立に関する研究の実施
- ・研究成果報告会等の開催（SDGs）
- ・県や市等の自治体や商工会議所、民間企業とのSDGs関連事業の共同実施
- ・鳥取市脱炭素先行地域プロジェクト など

PICKUP

地域イノベーション 研究センター



センター長

吉永 郁生 教授

京都大学農学部水産学科卒業。同大学農学博士学位取得。文部省在外研究員としてアメリカ合衆国オレゴン州立大学に留学後、京都大学大学院農学研究科助教を経て、2013年4月より鳥取環境大学環境学部環境学科教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2015年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2016年4月より地域イノベーション研究センター長。

特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています



地域に関する研究や実践を通じて、 人材の育成へ、そして生き方の創造へ

これからの日本は人口が減少し、高齢化することは確実です。その中で新たな生き方を模索し、創造していかなければなりません。ある人の生き方は、常に、住んでいる場所の自然環境や社会、そして文化や歴史と密接に関係しています。だからこそ、本学の理念「人と社会と自然との共生」は新しい生き方の重要な価値観です。

地域イノベーション研究センターでは、固有の自然環境を基盤とする鳥取県の地域社会や文化、産業について、様々な課題に取り組んでいます。この地域の研究・実践を通じて、学生が将来、地域の中で主導的にその役割を果たせる立場になることを目標にしています。地球レベルの環境問題であっても、その解決策は地域の中に存在することを認識し、小さな鳥取県での取り組みが将来は世界のモデルになるであろうことを意識して学修していきます。

Act Locally, and Think Globally !!

研究活動例

- ・科学的データに基づく農水産物の「鳥取ブランド」育成
- ・有機物のノンターゲット解析データを活かした持続可能な農業技術の開発
- ・体験型観光等をツールとした地域関係人口の増大と
地方での新しい生き方の提案 など



池田 さくら さん 1年生
群馬県出身
環境学部

環境大学へ入学して複数のサークルに所属しました。それらの活動から、他大学の学生や、地域の方々との関係を深めることができました！また、鳥取砂丘や学内にて、ゴミ拾いや除草活動等の環境整備が行われていて、地域課題をより身近に感じることができると思います！



勝 虹翔 さん 2年生
鹿児島県出身
経営学部

プロジェクト研究では、普段生活では関わることのない他学部の学生や、他学年の学生と振り分けられたテーマについて討論し、研究することができるため、様々な視点から研究に取り組むことができます。他学部との交流により、普段は学ばない内容について考えることができるので、多くの学びにつながります。

CAMPUS INFORMATION

さあ、鳥取を楽しもう!

初めての街で初めての一人暮らし。
今はまだワクワクよりもドキドキって
気分だけど、周りの人たちが
みんな同じ気持ちで、
スタートラインに立っている。
何もかもが目新しい生活のスタート。
興味のある学びに打ち込める期待も
もちろんあるけれど、
キャンパスライフを目一杯楽しみたい。
生まれ育った街と全く違った環境で
新しい仲間たちとの4年間。

さあ、鳥取を楽しもう!

鳥取 しゃんしゃん 祭

毎年8月中旬に行われる「鳥取しゃんしゃん祭」の一言傘踊りには、TUESしゃんしゃん委員会が主体となって多くの学生たちが参加しています。



まず鳥取県は自然豊か! 自然や生き物などが好きな人にとっては最高の場所です! 鳥取砂丘以外にも絶景スポットが多く人が少ないのでゆったりと見られます! また、ご飯がどこに行っても美味しくそれでいて安い! 自分の推し料理店を見つけるのもありかも…?



本番に向け、みんなの心がひとつになる。
「しゃんしゃん傘踊り」のチカラに感動!

お祭りを運営したり、地域の方たちと連携を深めたりすることに魅力を感じて、「しゃんしゃん委員会」に入りました。今は裏方をしていますが、踊り子さんたちが練習を重ねて本番に向けて成長していくのを見るのが、とても楽しいです。最初は人見知りだった人も次第に打ち解けていって、みんなでひとつのお祭りを作り上げていく様子を見てると、胸が熱くなります。踊り子さんは1年生だけでなく、2年生になってから「私も踊りたい!」って入ってくる人も多いですよ。なんといっても、鳥取県内で一番大きなお祭りに参加できるって、特別な経験だと思います。



田中葉さん 2年生
福岡県出身
経営学部 経営学科



榎葉響さん 1年生
岡山県出身
経営学部

環境大学のサークルは運動系に関わらず様々なサークルがあります。私は野球部に所属していますが、大学のサークルは高校の部活とは違った楽しさがあります。



CAMPUS EVENT



- 入学式
- フレッシュャーズセミナー
- 前期講義開始
- 新入生歓迎会
- 公務員説明会



- 前期試験
- プロジェクト研究発表会
- 前期学生表彰式



OPEN CAMPUS開催!
今年の夏は鳥取に!
みんな待ってるよー!



←OCの情報は
こちらから



- 鳥取しゃんしゃん祭
- 短期留学プログラム



- 後期講義開始
- 環謝祭(大学祭)



- スポーツ大会



- 環大コンベ

「公立鳥取環境大学を支援する会」主催のイベントで、地域の課題解決に関する企画を学内から募集し、優秀な企画(団体)を支援しています。



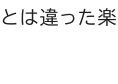
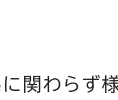
- 後期試験
- プロジェクト研究発表会



- 後期学生表彰式
- 短期留学プログラム



- 学位授与式



篠田悠心さん 1年生
京都府出身
環境学部

クラブ サークル 委員会



全国でも珍しい
ユニークなサークルや
趣味を生かせるクラブなど、
学生生活を彩る機会を
たくさん作ることができます。

クラブ・サークル・
委員会の詳細は→



CLUB PICK UP

学友会執行部

全てのクラブ・サークルが円滑に楽しく活動していけるように、予算面も含めサポートしていく役割を担っています。また、大学の担当課との様々な折衝業務も担当しています。このような大学内の業務に加えて、今後はより地域の方々と連携を強めていきたいと考えています。

戸屋 聡美 さん (学友会長)
兵庫県出身
経営学部経営学科 3年生



体育系

空手道部

少人数ながら、日々練習に励んでいます。皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

弓道部

チーム一丸で日々練習に励んでいます！新入部員も随時募集中です！

剣道部

「やりたいときにやりたいことをやりたいだけ」が私たち剣道部のモットーです。

硬式テニス部

テニスが好きな人、やってみたい人、運動不足解消したい人募集中です！



サイクリング部

風を切って鳥取の綺麗な景色を見に行きませんか？



サッカー部

初心者募集中!!! サッカーに興味がある人は楽しくサッカーできる部活です！



女子バレーボール部

バレーをやったことない人も興味ある人も大歓迎です!!



ソフトテニス部

ソフトテニス部です！経験者、初心者でも男女関係なく大歓迎です！



ソフトボール部

毎週月、木の4.5限にグラウンドにて練習しています！イベントも定期的にやります！



卓球部

本気でやりたい人、皆で楽しくやりたい人等、沢山の方々をお待ちしています。



ダイビング部

鳥取の海や沖縄の海などでダイビングしています！



男子バスケットボール部

バスケットボール部は学年、男女関係なく楽しく活動しています。



男子バレーボール部

初心者でも大歓迎！バレーボールを通してたくさんの人と仲良くなれます！



ダンス部

部員の過半数は初心者なので、気軽に体験しに来てください！



フットサルサークル

男女混じってゆるーく活動しています！皆さんの参加お待ちしております！



軟式野球部

現在部員30名程、週3日～初心者から経験者、マネージャーさんまで活動しています！



バドミントン部

未経験者も経験者もみんな楽しく打てるようなサークルになっています。



ハンドボール部

ハンドボール経験者、初心者問わず部員一同お待ちしております!!



ボード競技部

シーズン毎に海や山でボード競技を行っています！



水部

水に関することをやろうをモットーに活動しています。



陸上競技部

人数は少ないけど、頑張っている人もいます。入ってね。



文化系



馬っ子部

乗馬インストラクターや子ども向けイベント企画などを行っています。



映像研究部

映像研究部は、映像をはじめ様々な形で創造を楽しむサークルです！



音創部

初心者大歓迎！音楽を通じてキャンパスライフを充実させよう！



弦楽同好会

私たちのサークルではバイオリン・ビオラ・チェロを演奏しています。



献血推進サークル鷲倉(OSHIDORI)

学内外を問わずに献血に関するボランティアをしています。

交通研究部

鉄道模型好きな方もそうでない方も一緒に楽しみましょう！

狩猟部

狩猟部は狩猟をしたり、レザークラフトをしたり様々な活動をしています。

吹奏楽部

部員25名で活動しております。主に学内でコンサートを開催しています！

生物部

生き物の調査をしたり、地域の方向けにイベントを主な活動にしています。

箏曲部

初心者から始められる邦楽！私たちと一緒にしてみませんか？



地域交流部

様々な地域に足を運び、地域の方との交流を中心に活動しています！



TUES English Club

部員の希望に沿って、英語を使った活動を企画しています。



TUES地球環境を考える会

環境問題やSDGsに關しての勉強会や講演、フィールドワークを行うサークルです！



TUES放送文化部

アナウンスや、朗読や映像・音声番組も制作しています！お待ちしております！



手品部

場所や老若男女問わず、多くの人を笑顔にできる手品を始めてみませんか？



テーブルゲーム研究会

麻雀が好きな人もその他のボードゲームが好きな人も歓迎しています。



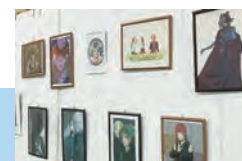
天文部

星取県と呼ばれるほど美しい夜空を、一緒に見てみませんか？



人と自然部

畑作業と農園のお手伝いをしています！泥だらけになりながら楽しく働く活動中です。



美術部

部員全員絵を描くことが好きなばかりです！一緒に楽しく活動しましょう！



防災サークル mu-TUES

防災の意識と知識を楽しむ身につけてもらえるように活動しています。



マーケティング部

地域企業と連携し、イベント参加や企画・運営をしています！



無国籍茶道部

経験のある方もない方も一緒に茶道を楽しみましょう！



森の住人部

自然豊かな鳥取県を満喫できる楽しいアクティビティを行っています！



ヤギ部

ヤギを5頭飼育しています。各々魅力的な子達です。



料理部

月に1回程度集まり料理をしています。



和太鼓部

個性豊かな部員16名で演奏しています!!初心者大歓迎!



委員会



TUESしゃんしゃん委員会

鳥取市最大のお祭りである「しゃんしゃん祭り」に参加します!ぜひ一緒に楽しみましょう!



大学祭実行委員会

10月に行う『環謝祭』に向けて、委員一丸となって取り組んでいます!



学友会執行部

学友会のお金の管理や、学外団体との交流を積極的に行っています!



卒業アルバム製作委員会

主に、卒業アルバムの写真撮影や製作を行っています!



卒業記念事業実行委員会

卒業生の方々を笑顔で送り出すため卒業記念パーティーの企画運営を行っています!



山下 悦司 さん 2年生
岐阜県出身
環境学部

私は和太鼓部に所属していて、本番に向けて日々練習をしています。最近本校の大学祭である環謝祭で発表しました。本番はとても緊張しますが、達成感をとても感じることができました。自分達の日々の努力を学友や地域の方に見てもらえるため、とても良い機会になっています。



角 千聖 さん 2年生
鳥根県出身
環境学部

私は、ヤギ部に所属しています。ヤギの世話はもちろん、環謝祭に出店するヤギグッズの制作も行っています。今年は、ステッカーを制作しました。忙しくて当番に入れなかったり、ヤギに直接関わるのが難しかったりする人でも参加できておすすめです。



就職支援



就職支援センター長
石川 真澄 教授 (経営学部)

大学生活では折に触れ卒業後の進路を意識することになります。自分の適性や価値観から憧れや希望を目標に変え、そこへ至る途を見定めて歩むことになるでしょう。就職支援センターは進路をめぐる疑問や不安、課題に直面する学生の伴走者です。小さな大学のメリットを生かし、入学から進路の決定まで、一人ひとりと向き合って学生の成長を支えます。

● サポート・相談体制

就職アドバイザー
中島 靖雄

本学の就職支援の特徴は、マンツーマンの細かいサポートです。これらも本学の伝統ともいえるアットホームな就職支援を続けていきます。



就職支援センターでは、常駐のスタッフが学生に寄り添ったサポートを行っています。このスタッフに加えて、週2回就職実績講師が来学し、週1回はハローワークによる出張キャリア相談を開催しています。



就職支援センター

学生一人ひとりが抱く希望業種やエリア、進学など多様な進路への思いと真摯に向き合い、徹底したサポートを心がけています。



公務員内定者との交流会

「なりたい自分」を叶える様々なサポート



● 進路ガイダンス

各学期の初めに学年ごとに進路ガイダンスを行います。年次進行に合わせて取り組むべきことを確認していきます。また、昨今の就職活動状況や重要なポイントなどを把握し、意識を高めています。

● キャリアデザインB

2年次には、自分の適性や価値観と向き合い、キャリアの方向性や準備すべきことを考えます。各業界で活躍するゲストの講演を通じ、各業種・職種の事情やキャリア形成のイメージを学び、働く意義や職業観を深めます。

● キャリアデザインA

入学直後の1年次前期に開講し、大学4年間で人生における重要なキャリアの一部分であると捉え、大学での学びを理解し、コミュニケーション能力や情報収集能力を磨きます。自らのキャリアを描き、学ぶ方向性を見出します。

● インターンシップ説明会

インターンシップへの参加は職業理解や就業意識の向上につながります。説明会ではインターンシップの意義や探し方、手続きについて説明します。履修希望者には、履修方法も案内します。

● 3年生全員面談

3年次の前期と後期に就職支援センタースタッフと個別面談をします。前期は、現状や希望進路を確認し、準備すべきことを整理します。後期は就活の進め方など、具体的な活動計画を確認します。



● 学内合同業界説明会

3年次の冬に、本学の学びを生かせる企業や卒業生が多く活躍する企業約30社を招き、開催します。学生が気になる企業ブースを訪問し、業界動向や求める人材等を知り、就職活動に生かします。

● 学内個別企業説明会・選考会

これまでの卒業生の活躍等もあり本学学生を求める企業は多数あります。こうした企業と連携し、学内で個別説明会や選考会を実施します。学内開催のため、交通費や時間の負担が軽減されます。



就職活動を力強くサポート



就職活動等の
交通費・宿泊費補助

就職活動やインターンシップで必要な交通費や宿泊費を補助します。



就活・資格
関連書籍の貸出

就活に役立つ書籍、資格対策用の参考書(簿記・FPなど)を貸し出しています。



オンラインスペースの
提供

オンライン面接・説明会用に快適で集中できる環境を提供しています。



TUESキャリアナビ

ガイダンスや求人情報の入手、就職相談や面接練習の予約ができます。

就職DATA

2024年度実績

勤務地別就職内定者数

※配属予定地または本社所在地

中国(鳥取県を除く) 29名
環境学部 10 / 経営学部 19

鳥取県 49名
環境学部 19
経営学部 30

九州・沖縄 13名
環境学部 8 / 経営学部 5

四国 13名
環境学部 8 / 経営学部 5

北海道・東北 2名
環境学部 2 / 経営学部 0

中部 21名
環境学部 9 / 経営学部 12

関東 40名
環境学部 22 / 経営学部 18

近畿 78名
環境学部 43 / 経営学部 35

就職内定率

98.8%

環境学部

99.2%

内定者数 121名
就職希望者数 122名

経営学部

98.4%

内定者数 124名
就職希望者数 126名

公務員試験合格や難関資格の取得をめざす

公務員試験対策講座や資格取得支援講座を学内で開講し、講座費用の一部を本学がサポートするなど、学生の経済的な負担の軽減を図っています。担当職員が様々な相談に答えながら、合格に向けてのフォローをします。また、合格者への表彰制度もあります。また、各自のペースで学習するため、講座はWebで視聴しますが、公務員講座は対面での講義や面接指導も行います。



● 学生表彰制度(資格・検定)

本学が定める資格・検定に合格した学生を対象に、学長が表彰するとともに、副賞を授与します。

2024年度の学生表彰実績

- 公認会計士(論文式・短答式)
- TOPIK(韓国語能力試験) 6級
- 日商簿記検定 2級
- CEFR B1相当(英検準一級・TOEIC IP)
- FP 2級
- ピートープ管理士(計画部門) 2級

仲間との切磋琢磨の学びを応援

公務員や資格取得をめざす学生の自主学習会を支援します。学生主体の会ですが、本学教員が講義や相談に応じています。2024年度は、支援認定された学習会に対してテキスト費用の助成や学習スペースを提供しました。

2024年度支援学習会

- IT/バスポート学習会
- 公務員対策勉強会
- 日商簿記検定・FP試験研究会



先輩
VOICE

ソフトバンク
エンジニアリング株式会社に就職！

授業で出会った商品開発やブランディングの面白さを体験できる仕事に！

企業での実務経験が豊富なゼミの磯野先生のアドバイスや、企業経営や経営情報といった様々な分野の授業で学んだことを生かし、就職活動を進めました。そして、マーケティングの授業で知った商品開発やブランディングの面白さ、ワクワク感を実際に体験できる仕事に就くことができ、大変嬉しく感じています。



李 ジュンソ さん 4年生
経営学部経営学科 韓国出身



金 大克 さん 1年生
兵庫県出身
経営学部

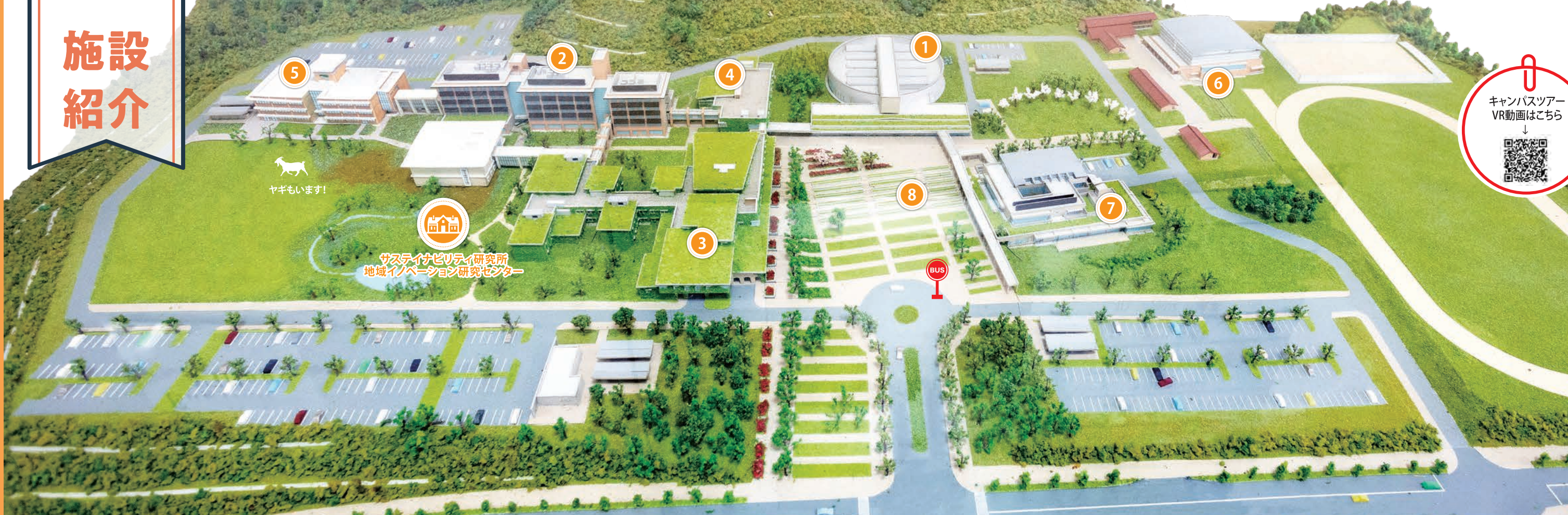
高校時代、大学選択をする時世間一般的に偏差値だけで選ぶことが多い中で僕もその1人でした。この大学に入って気づいたことはどこで学ぶのが大切なのではなく、何をどのように学ぶのが大切だということです。都市と比べて田舎ですし、娯楽も比較的少ないです。しかし、だからこそ常に人生にとって大切なものを見つめることができます。この大学はそんな場所です。



松本 りさ さん 3年生
兵庫県出身
環境学部

大学は自由だからこそ、自分で考えて行動する必要がある。何かをしたいと考えてるなら動こう！

施設紹介



ヤギもいます！

サステナビリティ研究所
地域イノベーション研究センター

キャンパスツアー
VR動画はこちら



キャンパスマップ

環境に配慮されたエコな設備が至るところに配備されたキャンパスには
研究に打ち込める最新の施設やキャンパスライフを楽しめるスペースが充実。

1



情報メディアセンター(図書館)



メインフロア
の正面に位置
するシンボルの建
物。図書館には約
10万冊の蔵書が
あり、研究や学修に集中できる環境です。また、個人ブースやグループで学修活動などが行えるラーニング・コモンズがあります。

2



教育研究棟



教員研究室や
学生研究室が
近接して配置さ
れ、教員と学生
のコミュニケー
ションが取りやすいよう配慮されていま
す。学生研究室は授業の空き時間に自由
に利用できるようになっています。

3



大学本部・講義棟



1階は学修課や
保健室、2階は
事務フロアがあ
る大学本部と12
の講義室が配置
されています。230～500席ある大講義室
は映像や音響設備も装備し、講義以外にも
講演会など多目的に利用されています。

4



情報処理棟



全室の可動機
を整備しており、
プロジェクター
や書画カメラも
設置されていま
す。語学の授業を中心に、プロジェクト研
究などの演習、パソコンを使った学修ス
ペースなどに使われています。

5



実験研究棟



多彩な実験室
や教員研究室、
学生実験室が
配備され、幅広
い分野の研究
が日々繰り広げられています。目の前には
ヤギが放し飼いされている放牧地があり、
環境大学ならではの風景となっています。

6



体育館等運動施設・クラブハウス



体育館やテニ
スコート、グラ
ウンドなどの運
動施設とクラブ
ハウスがありま
す。グ
ラウンドは1周300mのトラックをもち、テ
ニスコートは4面。体育館の横には部室が並
び、サークル活動に活用されています。

7



学生センター



1階は、憩いの
場であるカフェ
テリア(食堂)や
売店と、英語圏
を疑似体験でき
る英語村、2階には多目的ホールや和室
など主に文化系サークルの活動に使用さ
れる設備があります。

8



メインアプローチ



大学キャンパ
スに足を踏み入
れると最初に目
に入るのが、階
段上に作られた
メインアプローチ。緑がいっぱいで広々と
した景観に、環境大学らしさを感じること
ができるそうです。

キャンパスで見つけた エコな設備

環境に配慮した設備がキャンパスの至るところに。キャンパスで探してみました！



クールヒートチャンバー
地下熱を利用して冷暖房の
負荷を減らす設備です。



グリーンウォール
建築物の外側に植物を生育さ
せ温度上昇抑制を図ります。



太陽光発電システム
光エネルギーをソーラーパネルで吸収し、電気に変換します。



ソーラーウォール
パネルを外壁に設置して、空
気を温め、暖房に利用します。



再生アスファルト
廃材で作られた再生アスファ
ルトを採用しています。

安心できるキャンパス 学生サポート

チューター制度

学生ごとに担当の教員を
割り当て、学生一人ひと
りの学修目標に応じた履
修指導などを行っています。
●履修・学生生活など
でわからないことを気軽に
相談できます。

オフィスアワー

学生が自由に教員研究
室を訪ね、質問や相談が
できます。週2回各90分
のオフィスアワーを設け
ており、講義を受けてい
ない学生も質問があれば
訪ねることができます。

学生支援センター

学修や単位、卒業(修了)
といった内容を中心に、大
学生活での悩みごとにつ
いて職員が相談に応じま
す。また、障がいのある学生
への配慮に関することにつ
いても相談に応じます。

健康管理(保健室)

講義中に気分が悪くな
ったり、課外活動中にケガを
した場合にもすぐに適切
な処置が受けられるよう、
看護師が常駐しています。
●ケガや病気の応急処置
●健康相談
●医療機関の紹介

メンタルヘルスケア (こころの相談室)

大学生活全般への不安、対
人関係の悩みなどを、臨床
心理士(常駐)とともに考
えていく個別カウンセリング
を受けることができます。また、
学校医(メンタルヘルス)が
月1回相談に応じます。

アルバイトの紹介

企業から依頼を受け、本学
が学生にふさわしいと判断
したアルバイトを紹介して
います。また、TA(ティーチング・ア
シスタント)をはじめ、学内
でのサポートや作業のアル
バイトも随時募集しています。



スクールバス

学生証を提示するだけ
で、通学や学外学修に便
利な日本交通が運行して
いる路線バス(鳥取駅—
環境大学前間 等)および、本学学生のみが乗車可能であるスクールバス(専用便)
に乗車できます。また、土・日・祝祭日や夏期・冬期休業期間は、日本交通が運行して
いる鳥取県東部地区の全路線に乗り乗車できるため、観光地や中心市街地へも気軽
に出かけることができます。



居心地のよさが気に入っています

中野 敬太 さん
経営学部経営学科 2年生 鳥取県出身

空き時間はたいてい学生センターにい
ます。開放的なオープンスペースに、椅子
やテーブルが程よく置いてあって、とても
居心地がいいんですよ。放課後は音創部
(軽音楽サークル)の部室で、仲間たちと
練習しています。音量を上げててもOKなの
が嬉しいですね。



キャンパスインフォメーション



近藤 旭駿 さん 1年生
兵庫県出身
経営学部

大学には様々な施設がありますが、特にお勧めしたいのは情報メディアセンターです。落ち着いた静かな空間
で集中して勉強をすることができますし、パソコンや本について気になることがあればカウンターに行くと優
しく教えてもらえます。また閲覧室前のギャラリーは学生同士の交流の場所としてもよく利用されています。



後藤 奏 さん 1年生
鹿児島県出身
経営学部

英語村では、英語があまり得意ではなくても外国人スタッフの方と楽しみながら英語のコミュニケー
ションを学ぶことができます。チャットだけではなく、バーベキューや季節ごとのイベントもあり、中々経
験することのできない海外の文化に触れることもできます。

国際交流

世界に飛び出して視野を広げよう！ 異文化交流人間性をさらに豊かに。

語学研修などの海外派遣の支援や国際交流事業や学生交流プログラムなど、本学では様々な国際交流を積極的に展開しています。また、学内でも、英語村でのアクティビティや留学生サポーターによる交流イベントなど日常生活における異文化体験の場を提供しています。多くの人々との積極的な交流体験から、自分自身の視野を広げ、多彩な経験を身につけていってください。

PICK UP



短期語学留学

カッセル大学／ドイツ

失敗や人の目を気にせず一歩踏み出す勇気の大切さを体験できました。

留学によって多様な価値観にふれ、視野を広げたいと思っていました。特にヨーロッパにおける持続可能な経済社会システムや人中心の街づくりなどを自分の目で確かめてみたいという考えから、ドイツへの留学を決めました。現地では大学の授業を受講するとともに地域の野球チームの練習に参加したり、パーティに参加したりして数多くの友人を

作ることができました。自らが起こした「行動」によって貴重な経験をえられることを実感し、失敗を恐れず一歩踏み出す勇気の大切さを体験できた留学でした。帰国後は、ドイツで学んだ経済システムなど、より詳しく研究したい分野が増えましたし、何よりアルバイト先で海外の観光客へ余裕を持って対応できるようになりました。

間崎 幹也 さん

鳥取県出身
経営学部 経営学科 2年生

International Exchange Support



多文化交流空間「英語村」
実践的な英会話を楽しく学べる
疑似英語圏体験空間

本学には楽しく自然に英会話スキルとコミュニケーション能力を身につけられる「英語村」があります。自信がなくても構わないので、英語で話し切ることチャレンジしてみてください。



学生交流プログラム
諸外国との交流を通して
相互理解を深めるプログラム

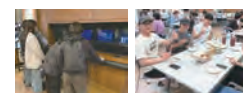
相互交流協定を結んでいる海外の大学と学生交流プログラムを実施しています。相互派遣方式のプログラムでは、現地ホスト校それぞれがリードして異文化理解を深めています。



短期語学留学

短期間で集中的に語学研修や
文化体験等ができる

語学に興味がある、異文化体験や現地ならではの進んだ学修をしたい方におすすめです。24時間外国語に触れて会話力を高めるとともに、現地の文化や暮らしを学びます。



留学生サポーター制度・交流会

外国人留学生を楽しく
サポートしながら異文化交流

本学は多国籍の留学生を受け入れており、思い出に残る学生生活を送ることができるよう、様々な制度を設けて充実した活動が行われています。

国際交流協定締結大学

サザンクロス大学	オーストラリア
セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス	アメリカ
カッセル大学	ドイツ
トリニティウエスタン大学	カナダ
ユニテック工科大学	ニュージーランド
パリ・ベルビル建築大学	フランス
オーフス建築大学	デンマーク
清州大学	韓国
江原道立大学	
ロシア極東国立総合大学	ロシア
ウラジオストク国立経済サービス大学	
吉林大学	中国

#韓国清州大交流



#トリニティウエスタン大学
副学長来学



#留学生防災勉強会

本学には、学生の海外留学等を支援するため、期間や内容に応じた補助金制度があります！

国際交流の
詳細は→



#セントラルクリスチャンカレッジ
オブカンザスにて



#短期語学研修 in マレーシア

私は学校の海外研修プログラムで、マレーシアとドイツへ留学しました。世界の広がりや多彩さを実感でき、将来につながる貴重な経験を得ることができました。この大学には、留学プログラムをはじめ、英語村や英語資格に向けた授業もあります。鳥取にいながインターナショナルな活動ができるのも、大学の魅力の1つです！

TUES LIFE

Enjoy!!



岡本 竜哲 さん 1年生

京都府出身
経営学部

環境大学は英語に力を入れており、留学はもちろん、大学内に英語村というスペースがあるので毎日気軽に英語に触れることができます。自分もそこで英会話の楽しさを感じ、海外への興味を持つことができました。

Found 鳥取

地域・自然・人とつながる

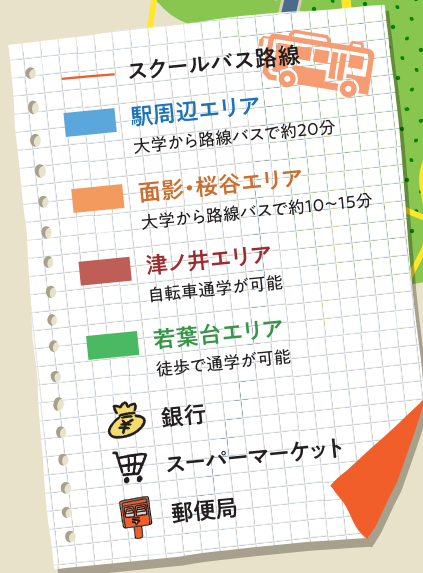
鳥取で出会う、人・文化・自然。

「鳥取県」について、みなさんはどんなイメージを持っていますか？

砂丘？ 梨？ 蟹？ 全国で一番人口が少ない県？

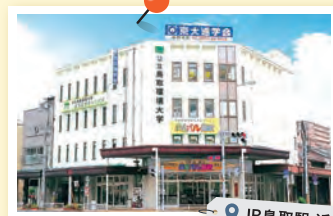
海と山の豊かな大自然に囲まれた鳥取県は、個性豊かでおいしい食材の宝庫！

また、美しい地質遺産や四季を彩る素晴らしい景勝地、大地の恵みの温泉、
実直で温かな人々が受け継いできた伝統文化など、たくさんの魅力にあふれています。



学外施設

学生や教員による研究活動
や地域連携、交流の拠点と
なっています



まちなかキャンパス

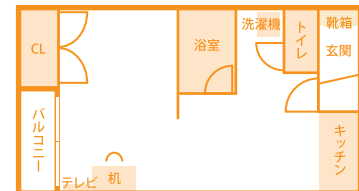


岩美むらなかキャンパス



西部サテライトキャンパス

一人暮らしの先輩に聞く

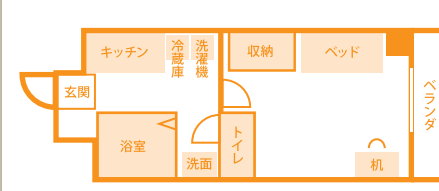


経営学部経営学科 1年生
永石 眺也 さん
福岡県出身

とある1か月の収支

収入	アルバイト	48,000円
	仕送り	30,000円
	家賃(親負担) ※駐車場代込み	46,000円
支出	光熱費	10,000円
	食費	15,000円
	交際費	15,000円
	日常雑費	8,000円
	車両費	10,000円
	貯金	20,000円
	計	78,000円
	差引	0円

推薦入試で合格し、一足早く部屋探しを始めたおかげで、満足できる住まいが見つかりました。食事は毎日自炊です！ポトフやオリジナルカレーから茶碗蒸しまで、レシピも着々と増えています。私は北九州出身。当初は鳥取に馴染めなかと不安だったけど、今では地元生はむしろん全国各地から集った仲間たちと、充実した大学生活を送っています。



環境学部環境学科 2年生
岩本 花 さん
東京都出身

とある1か月の収支

収入	アルバイト	70,000円
	奨学金	なし
	家賃(親負担) ※水道代込み	45,000円
支出	光熱費	10,000円
	食費	15,000円
	交際費	10,000円
	日常雑費	10,000円
	貯金	15,000円
	計	60,000円
	差引	10,000円

東京の自宅を出て、一人暮らしを始める私に両親が出した唯一の条件は、「防犯がしっかりした部屋に住むこと」。食費が少な目なのは、家庭教師や農家での収穫のお手伝い「食事or食材つきのアルバイト」をしているから。今はサークルで和太鼓の稽古に励んでいます。様々なイベントに参加して演奏し、地域の方々と交流を深めながら、鳥取の魅力を満喫中です。



センパイ 220人 に聞きました!

Q1 鳥取で一番のお気に入りポイントは？

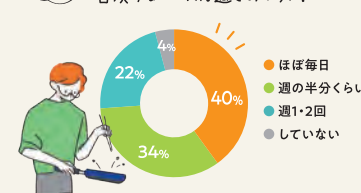
- 1位 豊かな自然
- 2位 食べ物おいしい
- 3位 海に近い

その他の回答：人が少なく、時間の流れがゆっくりに感じる／生活費、家賃が安い／星が綺麗に見える etc...

Q2 一人暮らしをしていますか？

はい：88%
いいえ：12%

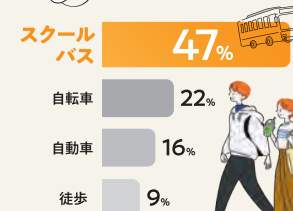
Q3 (一人暮らしの場合) 自炊するペースは週どのくらい？



Q4 休みの日は何をしていますか？

- カフェ巡り
- ショッピング
- 家でゴロゴロ
- スポーツ観戦
- 釣り
- 資格勉強
- プチ旅行
- サークル活動
- 探集
- 飲みに行く
- ダイビング
- その他回答多数

Q5 主な通学手段は？



Q6 大学で一番好きな場所は？

- 1位 図書館
- 2位 ゼミ室
- 3位 学生センター

その他の回答：図書館前のギャラリー／学校裏の森／フォーラム(中庭)／ヤギ棚周辺／英語村／部室 etc...

Q7 アルバイトはしていますか？

75% している
25% していない

Q8 どんなアルバイトをしていますか？

- スーパー・コンビニ／コールセンター／本屋／焼き肉屋／居酒屋／スポーツジムのスタッフ／塾・家庭教師／農業バイト／パン屋／結婚式場スタッフ／公共図書館の補助／ドラッグストア etc...

TOPICS 在学生出身地

日本国内・海外から集う仲間たち

北海道 14名	滋賀 4名	福岡 35名
青森 1名	三重 14名	大分 18名
秋田 0名	京都 35名	宮崎 6名
岩手 1名	奈良 3名	熊本 11名
山形 0名	大阪 62名	佐賀 10名
宮城 2名	和歌山 30名	長崎 21名
福島 1名	兵庫 176名	鹿児島 19名
茨城 6名	鳥取 289名	沖縄 10名
栃木 6名	鳥根 68名	海外 32名
群馬 5名	岡山 108名	
千葉 1名	広島 56名	
埼玉 4名	山口 12名	
東京 11名	香川 22名	
神奈川 3名	徳島 24名	
新潟 9名	愛媛 33名	
富山 20名	高知 6名	
石川 13名		
長野 12名		
山梨 2名		
静岡 35名		
愛知 36名		
岐阜 25名		
福井 15名		

在学生合計
1,326名



2025.4/1 時点

鳥取は雨が多いなと思いました。岡山は雨が全然降らないので傘を持って家を出ないのですが、鳥取の人はみんな折りたたみ傘を持っていました！天気予報も必ず朝イチで確認するのがベストです。

石川 紀奈穂 さん 2年生
愛媛県出身
環境学部

人口が少ない鳥取だからこそ、地域の方とのつながりやすさがあり、地域への飛び出しやすい環境が整っているように感じます。私は部活動を通して、地域のイベントに参加したり、郷土料理を教わっていたり、たくさんの思い出ができました！



公立鳥取環境大学という舞台が
皆さんを待っています。

大学をめざして頑張っている皆さんへ

何を基準に大学を選ぶかは人によって違うでしょう。「ブランド」、「やりたいこと」「就職、資格」等々。

私が受験生だった頃は、結構はっきりした「やりたいこと」があったので、それができる大学を捜しました。

さて、その頃と比べ社会は随分と変化しました。当時は、次の時代は「情報化社会」だと言われていました。ちなみに狩猟採集社会（1.0）、農耕社会（2.0）、工業社会（3.0）、情報化社会（4.0）と社会は変化し、皆さんを待っている社会は、5.0の社会だと言われています。「5.0社会」というのはAIをはじめとした先端テクノロジーが世の中に広く普及する社会です。「5.0社会（Society 5.0）」と聞いて皆さんはどんな社会を想像するかはわかりませんが、ひとつ忘れてならないことは、生きていくのはいつの時代も、悩み、喜び、悲しみ、へこたれ、頑張る、そういった生身の自分です。

本学には環境学部と経営学部とがあります。人間形成教育センター、AI・数理・データサイエンス教育研究センター、国際交流センターなど様々なセンターもあります。

「人と社会と自然との共生」を理念とし、現在「環境」と「経営」、「地域」を3つの柱とし、対象そのものの理解と、対象同士の関係づくりを通して、持続可能でよりよい社会をつくることをめざして教育、研究を行っています。

酷い出来事も少なくない現代ですが、2.0社会→3.0社会→4.0社会と進む中で、人類の懸命な努力によって世界は確実によくなっています。例えば、飢えや病気、災害、暴力で死ぬ人々の数は激減しています。それらの総和として世界の全人類の平均寿命は72歳にまで伸びています。希望をもって進みましょう。

本学にはフィールドワークと座学とが相互に絡み合う独自のカリキュラムがあります。5.0社会に向けたツールを学ぶプログラムもあります。それらを通して、学生の皆さんには、日本で起こっている少子高齢化といった課題解決も含め、自分の未来を切り開く力をしっかり伸ばしてほしいと願っています。在学生も、大学のいろいろな仕組みを利用したり、自分たちで仕組みを作ったりして、失敗しながらも活発に活動し成長しています。

そんな公立鳥取環境大学という舞台が皆さんを待っています。一緒に頑張りませんか。



2001年4月 **開学** 公設民営の私立大学
学校法人鳥取環境大学として開学（1学部3学科）
環境情報学部
環境政策学科、環境デザイン学科、情報システム学科

2005年4月 **大学院修士課程（環境情報学研究科）設置**

2006年4月 **人間形成教育センター設置**

2009年4月 **1学部4学科体制への改組**
環境政策学科を環境政策経営学科、
環境デザイン学科を建築・環境デザイン学科に改称、
環境マネジメント学科新設
サステナビリティ研究所設立

2012年4月 **公立化** 公立大学法人鳥取環境大学設立（2学部2学科）
環境学部環境学科、経営学部経営学科
地域イノベーション研究センター設立
英語村オープン

2012年5月 **西部サテライトキャンパス開設（米子市）**

2014年4月 **国際交流センター設置**

6月 **まちなかキャンパス開設（鳥取市）**

2015年4月 **大学名を「公立鳥取環境大学」に名称変更**

2016年4月 **大学院修士課程（環境経営研究科）設置**

6月 **実験研究棟竣工**

2018年4月 **岩美むらなかキャンパス開設（岩美町）**

10月 **SDGs取組宣言**

2020年4月 **学生支援センター設置**

2021年4月 **副専攻制度の開始**

10月 **開学20周年式典**
スチューデント・コモンズ設置

2023年3月 **鳥取大学大学院連合農学研究科と
教育研究指導等への協力協定締結**
本学大学院の修士課程の学生が、大学院連合農学研究科の博士課程に進学し、本学教員の指導を受けることが可能となる

4月 **AI・数理・データサイエンス教育研究センター設置**

8月 **環境省「脱炭素先行地域」（鳥取市等と共同提案）に選定**
Race to Zeroへ参加
国連気候変動枠組条約（UNFCCC）主導の2050年までの温室効果ガスの実質ゼロ排出をめざす国際キャンペーンへ参加



2024年8月 **文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）」に認定**



公立鳥取環境大学 学長 小林 朋道

【専門分野】動物行動学、進化心理学

岡山大学理学部卒業後、京都大学で理学博士取得。岡山県の高等学校に勤務後、2001年に本学に着任し、環境学部長、大学院環境経営研究科長、理事兼副学長などを歴任し、現在に至る。

他県出身の人達と交流ができ、様々な考え方を得られ、地元とは一味違った面白い世界が待っています！授業で一緒にすることも多く、仲良くなれるチャンスは沢山あります！



鈴鹿 由晟 さん 1年生
大阪府出身
経営学部



古賀 彩美 さん 1年生
大阪府出身
環境学部

英語村があり、そこでネイティブの先生といつでも話すことができますので、英語を学ぶ環境が整っています。





学納金 奨学金

学納金

環境学部環境学科/経営学部経営学科

入学科 **282,000円**
(県内者 188,000円※)



授業料 **535,800円**
(2年次以降納付金合計)



初年度納付金合計 **817,800円**
(県内者 723,800円※)

※「県内者」は以下のいずれかに該当する方

①入学前年の4月1日から引き続き鳥取県内に住所を有している方

②入学前年の4月1日から配偶者または1親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している方

入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険、学生教育研究賠償責任保険、学生生活・学外学修交通システム(スクールバス)負担金等の諸経費として約25,000円が必要となります。

奨学金・授業料等免除

本学では日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を取り扱っています。
また、本学は高等教育就学支援新制度の対象校です。

1 貸与型奨学金

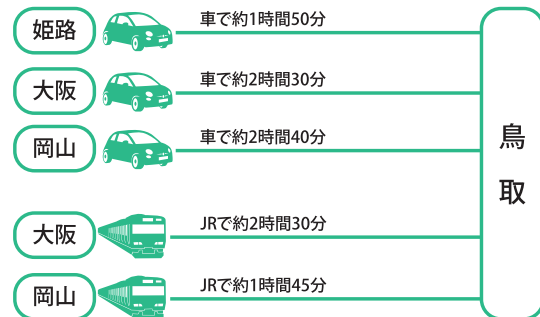
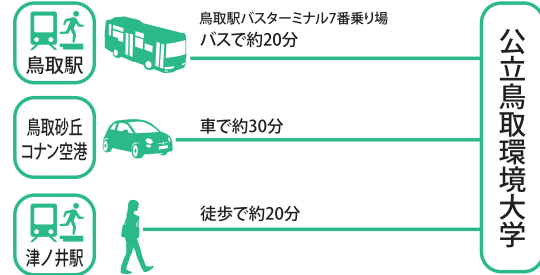
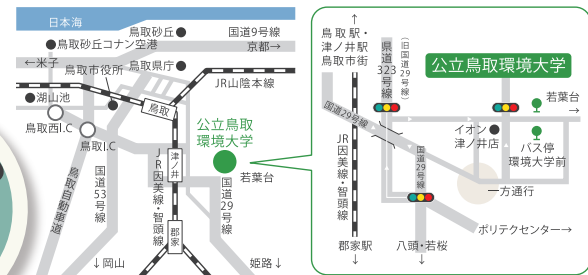
2 給付型奨学金

3 授業料・入学料の免除・減免

注意事項

①～③の対象となるには世帯収入や学業成績などの要件があります。
奨学金制度の詳細についてはJASSOのウェブサイトをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/>



公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号
TEL:0857-38-6720 FAX:0857-38-6709 e-mail:nyushi@kankyo-u.ac.jp

入試 情報



公立鳥取環境大学は「インターネット出願」を導入しています。

インターネット環境があれば、自宅のパソコンやスマートフォン、タブレット端末で出願登録が可能です。各収納機関、クレジットカード等で検定料をお支払いいただいた後に、必要書類をダウンロード・印刷し、大学へ郵送していただくことで、出願手続きは完了となります。

※日程等変更になる場合がありますので、出願手続きをはじめる前に、インターネット出願利用ガイド、学生募集要項を必ずご確認ください。
(2025年8月頃、本学ホームページ上に掲載予定です。なお、紙での配布はありません。)

2026年度 入試日程

入試区分			出願期間	試験日	合格発表日	試験会場
特別選抜	総合型選抜		2025年9月22日(月)～10月2日(木)	2025年10月18日(土)・19日(日)	2025年11月1日(土)	本学
	学校推薦型選抜	I型	2025年11月1日(土)～10日(月)	2025年11月22日(土)・23日(日)	2025年12月3日(水)	
		II型 (鳥取県内高校出身者対象)	2026年1月19日(月)～27日(火)	2026年2月1日(日)	2026年2月9日(月)	
		III型 (鳥取県内高校出身者対象・環境学部のみ募集)	2025年11月1日(土)～7日(金)	2025年 11月15日(土)・16日(日)・17日(月) [※]	2025年12月3日(水)	
一般選抜	前期日程	A方式	2026年1月26日(月)～2月4日(水)	2026年2月25日(水)	2026年3月5日(木)	本学・首都圏 名古屋・大阪 米子・岡山 広島・福岡
		B方式				
	後期日程			2026年3月13日(金)	2026年3月21日(土)	本学

※試験日は3日間のうち本学が指定するいずれか1日となります。

2026年度 入試概要

入試区分		学部	募集人数	選抜方法
特別選抜	総合型選抜	環境学部	20名	出願書類、模擬授業(レポート)、集団面接、個別面接
		経営学部	20名	
	I型	環境学部	30名	出願書類、小論文、個別面接
		経営学部	45名	
	II型 (鳥取県内高校出身者対象)	環境学部	10名	出願書類、共通テスト、小論文、個別面接
		経営学部	10名	
	III型 (鳥取県内高校出身者対象・環境学部のみ募集)	環境学部	15名	出願書類、プレゼンテーション・質疑応答
		環境学部	15名	

入試区分			学部	募集人数	共通テスト科目*	個別学力検査等
一般選抜	前期日程	A方式	環境学部	60名	●国語 ○地歴公民から1 ●数学 ●理科 ●外国語	◇数学、生物、化学から1
			経営学部	50名	●国語 ○地歴公民、情報から2 ●数学 ●外国語	◇数学、英語から1
		B方式	環境学部	10名	●国語 ○数学、理科から1 ●外国語	◇数学、生物、化学、英語から1
			経営学部	15名	●国語 ○地歴公民、情報、数学から1 ●外国語	◇数学、英語から1
	後期日程	環境学部	5名	●数学 ●理科 ●外国語	◆小論文	
		経営学部	10名	○地歴公民、情報、数学から2 ●外国語	◆小論文	

※共通テスト利用科目の詳細については、入学者選抜要項及び学生募集要項をご確認ください。 ●…必須 ○…選択

◆…必須 ◇…選択

瀧塚 蒼太 さん 1年生
愛知県出身
経営学部

様々なサークル、部活がありどれも魅力的です。その中で私は和太鼓部に所属しています。普段は基礎練習や曲の練習を部室でしています。学祭をはじめとした学校の行事や、地域の行事にも参加させてもらっています。全身を使い太鼓を叩くので大変ですがとても楽しいです。

山中 瑚々 さん 1年生
熊本県出身
環境学部

環境大学では、サークル活動やプロジェクト研究などの授業を通して、受動的にでも先輩方と関わる機会が多くあります。そのため、今まで先輩に話しかけることが不得意な人でも、授業についての質問や、一人暮らしで困っていることを相談しやすいと思います！